資料２

「第２期川口市地域共生社会推進計画」の策定に向けたアンケート調査報告書

令和８年９月

川　　口　　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 …… 1
　1　調査の目的 …… 1
　2　調査対象 …… 1
　3　調査期間 …… 1
　4　調査方法 …… 1
　5　回収状況 …… 1
　6　調査結果の表示方法 …… 1
　7　調査項目 …… 2
　8　調査結果まとめ …… 4
　　1　回答者属性 …… 4
　　2　生活の状況について …… 4
　　3　地域とのつながりについて …… 4
　　4　地域活動について …… 4
　　5　今後の福祉施策等について …… 5
　　6　再犯防止について …… 5
　　7　成年後見制度について …… 5
　　8　生活困窮者自立支援について …… 5

Ⅱ　調査結果 …… 6
　1　回答者属性 …… 6
　　問1　性別 …… 6
　　問2　年齢 …… 6
　　問3　一緒に暮らしている人 …… 7
　　問4　世帯状況 …… 8
　　問5　現在の収入での暮らし …… 8
　　問6　居住地域 …… 9
　2　生活の状況について …… 10
　　問7　地域福祉拠点や組織等の認知度 …… 10
　　問8　悩みや不安 …… 11
　　問9　日常生活で困ったときの相談先 …… 13
　　問9-1　相談しない理由 …… 13
　　問10　介護が必要になった場合の介護の希望 …… 14
　　問11　社会情勢の変化による生活への影響 …… 15
　　問12　生きがい …… 16
　　問13　主観的幸福感 …… 16

３　地域とのつながりについて 17
問 14　地域とのつながりの必要性..... 17
問 15　近所付き合いの程度..... 17
問 15-1　近所付き合いがあまりない理由..... 18
問 16　今後の近所付き合いについての意向..... 19
問 16-1　関心のあるつながり..... 20
問 17　孤独感・孤立感..... 20
問 18　市内で活動している外国人との交流..... 21
問 19　地域の支えあいの状況..... 21
問 20　日常生活を送るうえで気にかかる方（支援が必要と思われる）の有無..... 22
問 21　困っている方がいる場合にできること、日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと 23
問 22　日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な仕組み..... 25
問 23　地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと..... 25
４　地域活動について 27
問 24　現在参加している地域活動、今後取り組んでみたい地域活動..... 27
問 25　地域活動に参加したきっかけ..... 28
問 26　地域活動への参加依頼があった場合の参加意向..... 29
問 27　地域活動に参加しづらいと感じる理由..... 30
問 28　地域活動を広げていくために必要な支援..... 33
５　今後の福祉施策等について 34
問 29　福祉や健康について知りたい情報..... 34
問 30　福祉サービスに関する情報の入手先..... 36
問 31　住みなれた地域で安心して生活するために必要なこと..... 39
問 32　地域福祉についての考え..... 41
問 33　社会的孤立やひきこもりに対する地域の取り組み..... 42
問 34　居住地域で災害時の備えとして必要なこと..... 42
問 35　「終活」の実施状況..... 43
６　再犯防止について 44
問 36　再犯防止における民間協力者の認知度..... 44
問 37　「社会を明るくする運動」の認知度..... 44
問 38　再犯防止のために行政が取り組むべきこと..... 45
問 39　刑務所や少年院を出た人への支援..... 46
問 39-1　刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと..... 46
７　成年後見制度について 47
問 40　成年後見制度の認知度..... 47
問 41　成年後見制度が必要になった際に不安なこと..... 47
問 42　市民後見人の利用意向..... 48
問 43　市民後見人への志望..... 48
８　生活困窮者自立支援について 49
問 44　生活困窮者自立支援制度の認知度..... 49
問 45　生活困窮時の相談先..... 49

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

市民各層の地域福祉にかかわる意識構造や施策ニーズを把握し、庁内関係課や各種団体責任者等の現況認識と「地域共生社会推進計画」を策定する際の基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2　調査対象

18 歳以上の川口市民の中から無作為に抽出

3　調査期間

令和８年６月 25 日～７月 17 日

4　調査方法

郵送配布・郵送 or オンライン回答

5　回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000件	1,126件	37.5%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

7　調査項目

調査項目	問番号	設問
（1）回答者属性	問 1	性別
	問 2	年齢
	問 3	一緒に暮らしている人
	問 4	世帯状況
	問 5	現在の収入での暮らし
	問 6	居住地域
（2）生活の状況について	問 7	地域福祉拠点や組織等の認知度
	問 8	悩みや不安
	問 9	日常生活で困ったときの相談先
	問 9 - 1	相談しない理由
	問 10	介護が必要になった場合の介護の希望
	問 11	社会情勢の変化による生活への影響
	問 12	生きがい
	問 13	主観的幸福感
（3）地域とのつながりについて	問 14	地域とのつながりの必要性
	問 15	近所付き合いの程度
	問 15-1	近所付き合いがあまりない理由
	問 16	今後の近所付き合いについての意向
	問 16-1	関心のあるつながり
	問 17	孤独感・孤立感
	問 18	市内で活動している外国人との交流
	問 19	地域の支えあいの状況
	問 20	日常生活を送るうえで気にかかる方（支援が必要と思われる）の有無
	問 21	困っている方がいる場合にできること、日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと
	問 22	日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な仕組み
	問 23	地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと
（4）地域活動について	問 24	現在参加している地域活動、今後取り組んでみたい地域活動
	問 25	地域活動に参加したきっかけ
	問 26	地域活動への参加依頼があった場合の参加意向
	問 27	地域活動に参加しづらいと感じる理由
	問 28	地域活動を広げていくために必要な支援

調査項目	問番号	設問
（５）今後の福祉施策等について	問 29	福祉や健康について知りたい情報
	問 30	福祉サービスに関する情報の入手先
	問 31	住みなれた地域で安心して生活するために必要なこと
	問 32	地域福祉についての考え
	問 33	社会的孤立やひきこもりに対する地域の取り組み
	問 34	居住地域で災害時の備えとして必要なこと
	問 35	「終活」の実施状況
（６）再犯防止について	問 36	再犯防止における民間協力者の認知度
	問 37	「社会を明るくする運動」の認知度
	問 38	再犯防止のために行政が取り組むべきこと
	問 39	刑務所や少年院を出た人への支援
	問 39-1	刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと
（７）成年後見制度について	問 40	成年後見制度の認知度
	問 41	成年後見制度が必要になった際に不安なこと
	問 42	市民後見人の利用意向
	問 43	市民後見人への志望
（８）生活困窮者自立支援について	問 44	生活困窮者自立支援制度の認知度
	問 45	生活困窮時の相談先

８　調査結果まとめ

１　回答者属性

性別について、「男性」の割合が 42.1%、「女性」の割合が 54.1%となっています。（問１）

年齢について、「40～64 歳」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「18～39 歳」の割合が 16.6%、「65～74 歳」の割合が 15.5%となっています。（問２）

現在の収入での暮らしについて、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 11.9%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 40.2%となっています。（問５）

２　生活の状況について

地域福祉の拠点や組織等の認知について、「民生委員・児童委員」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」の割合が 49.5%、「社会福祉協議会」の割合が 33.7%となっています。（問７）

悩みや不安について、「自身の健康に関すること」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「生活費など経済的問題に関すること」の割合が 35.2%、「自身の老後（介護）に関すること」の割合が 34.5%となっています。（問８）

介護が必要になった場合について、「介護保険を利用しながらの在宅介護」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」の割合が 30.7%、「よくわからない」の割合が 25.1%となっています。（問 10）

３　地域とのつながりについて

地域とのつながりの必要性について、「とても必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた“必要”の割合が 79.9%、「あまり必要ないと思う」「必要ないと思う」を合わせた“不要”の割合が 16.8%となっています。（問 14）

近所との付き合いの程度について、「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」の割合が 16.3%、「挨拶や立ち話をする程度」の割合が 53.6%、「ほとんど付き合いはない」の割合が 25.6%となっています。（問 15）

近所付き合い以外に関心があるつながりについて、「趣味活動のつながり」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉的なケアに関するつながり」の割合が 19.4%、「地域活動（町会、自治会）のつながり」の割合が 16.5%となっています。（問 16-1）

４　地域活動について

現在参加している地域活動について、「地域の清掃・美化・リサイクル」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「健康づくり・医療」の割合が 24.6%、「防犯・交通安全」の割合が 19.0%となっています。（問 24）

今後取り組んでみたい地域活動について、「健康づくり・医療」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「高齢者支援」の割合が 35.4%、「文化・芸術、スポーツ等」の割合が 33.4%となっています。（問 24）

地域活動のための必要な支援について、「地域活動についての情報提供の強化」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「交通費などの実費の補助」の割合が 24.2%、「地域活動に参加する人材の確保・育成」の割合が 22.6%となっています。（問 28）

5　今後の福祉施策等について

知りたい福祉・健康情報について、「高齢・介護保険サービス」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「サービスの利用方法」の割合が 32.7%、「健康づくり」の割合が 25.5%となっています。(問 29)

福祉サービス情報の入手先について、「広報誌」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「インターネットや SNS（Facebook、X（旧 Twitter）等)」の割合が 29.2%、「どこからも入手していない」の割合が 21.1%となっています。(問 30)

安心して生活するために必要なことについて、「防犯対策の充実」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「福祉や保健に関する情報提供の充実」の割合が 36.6%、「災害対策の充実」の割合が 34.3%となっています。(問 31)

6　再犯防止について

再犯防止に協力する民間協力者の認知について、「保護司」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「更生保護施設」の割合が 22.0%、「少年補導員」の割合が 18.0%となっています。(問 36)

「社会を明るくする運動」について、「言葉も内容も知っている」の割合が 3.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 18.0%、「初めて聞いた」の割合が 75.7%となっています。(問 37)

再犯防止のために行政が取り組むべきことについて、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」の割合が 23.7%、「再犯防止のための計画を策定する」の割合が 22.6%となっています。(問 38)

7　成年後見制度について

法定後見制度の認知について、「言葉も内容も知っている」の割合が 23.8%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 38.8%、「初めて聞いた」の割合が 30.9%となっています。(問 40)

成年後見制度が必要になった際の不安について、「利用のための手続きがよくわからない」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「制度がよくわからない（利用が必要となる時、制度の内容など)」の割合が 42.6%、「費用がどれぐらいかかるかわからない」の割合が 35.1%となっています。(問 41)

市民後見人の利用意向について、「利用したい」の割合が 12.9%、「利用したいと思わない」の割合が 20.4%、「よくわからない」の割合が 63.6%となっています。(問 42)

8　生活困窮者自立支援について

「生活困窮者自立支援制度」の認知について、「言葉も内容も知っている」の割合が 12.6%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 54.6%、「初めて聞いた」の割合が 30.3%となっています。(問 44)

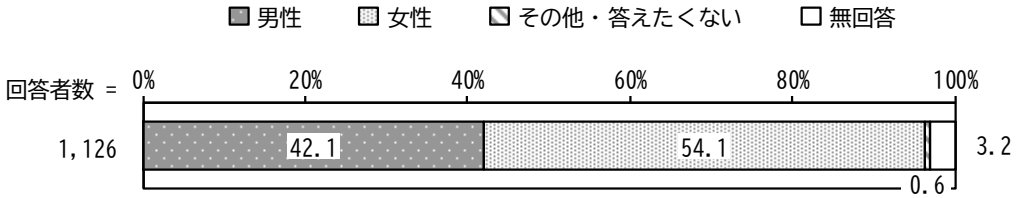
生活に困窮した場合の相談先について、「市役所・専門機関（川口市生活自立サポートセンターを含む)」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 39.7%となっています。(問 45)

Ⅱ　調査結果

1　回答者属性

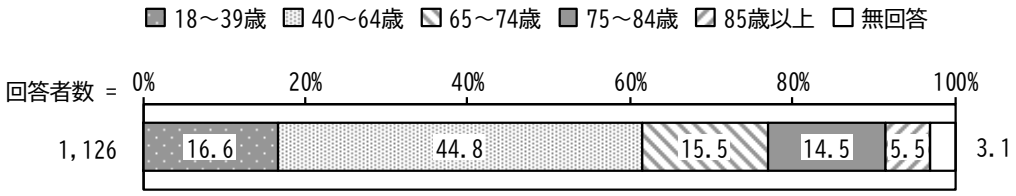
問1　あなたの性別をお答えください（ひとつに○）。

「男性」の割合が 42.1%、「女性」の割合が 54.1%となっています。



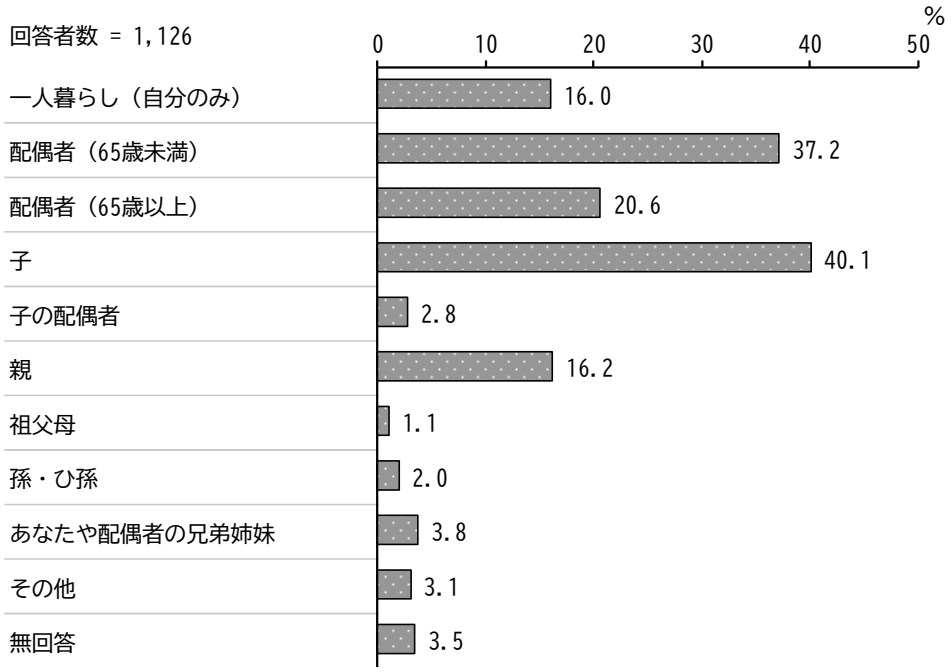
問2　あなたの年齢をお答えください（ひとつに○）。

「40～64 歳」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「18～39 歳」の割合が 16.6%、「65～74 歳」の割合が 15.5%となっています。



問３　あなたは、現在どなたと一緒にお住まいかお答えください
（あてはまるものすべてに○）。

「子」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「配偶者（65 歳未満）」の割合が 37.2%、「配偶者（65 歳以上）」の割合が 20.6%となっています。



【年齢別】

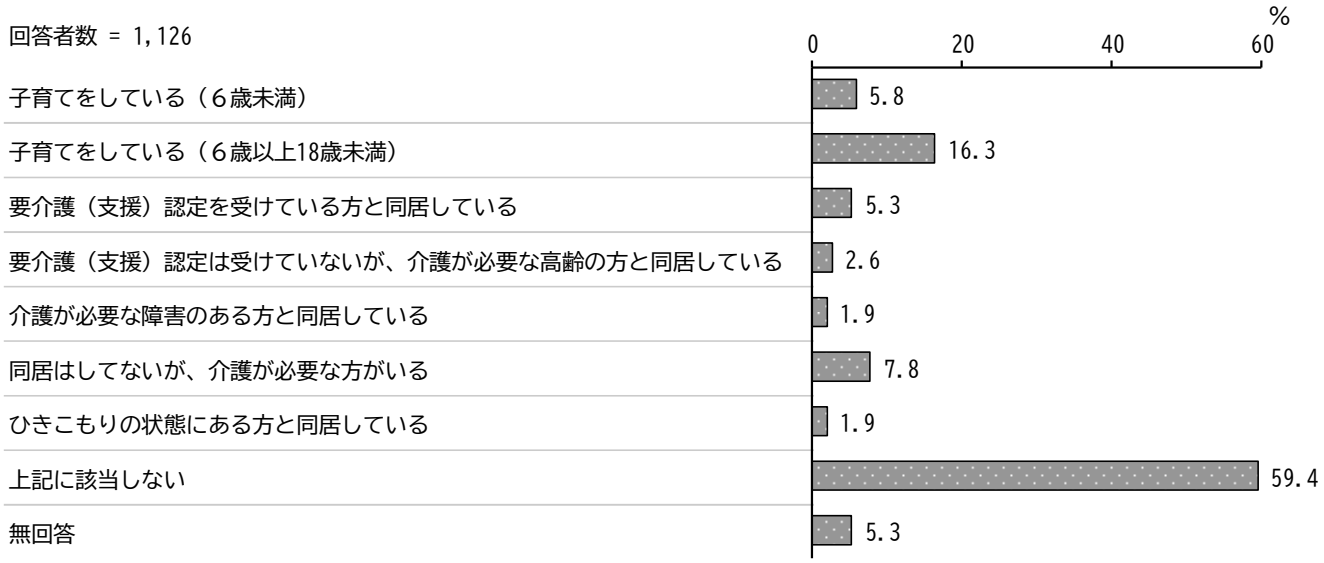
年齢別にみると、年齢が下がるほど「親」の割合が高い傾向にあり、85 歳以上から 40～64 歳まで年齢が下がるほど「配偶者（65 歳未満）」の割合が高くなっています。また、75～84 歳で「一人暮らし（自分のみ）」、65～74 歳、75～84 歳で「配偶者（65 歳以上）」、40～64 歳で「子」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	一人暮らし（自分のみ）	配偶者（65歳未満）	配偶者（65歳以上）	子	子の配偶者	親	祖父母	孫・ひ孫	あなたや配偶者の兄弟姉妹	その他	無回答
全　体	1,126	16.0	37.2	20.6	40.1	2.8	16.2	1.1	2.0	3.8	3.1	3.5
18～39歳	187	17.1	35.3	0.0	25.1	2.7	39.0	5.3	0.0	16.0	8.0	1.1
40～64歳	505	11.1	62.4	5.0	53.7	2.4	20.0	0.2	0.4	2.2	2.2	0.6
65～74歳	174	19.0	16.1	54.6	32.2	1.7	4.6	0.6	4.6	1.1	1.7	0.0
75～84歳	163	26.4	4.9	55.8	30.7	3.1	0.0	0.0	5.5	0.0	2.5	0.0
85歳以上	62	24.2	3.2	33.9	45.2	11.3	0.0	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0

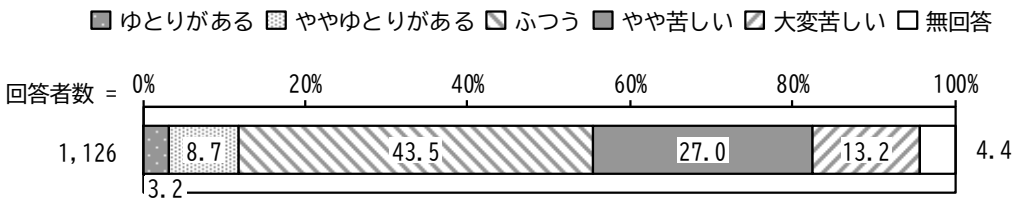
問４　あなたの世帯の状況についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

「子育てをしている（６歳以上 18 歳未満)」の割合が 16.3%と最も高くなっています。



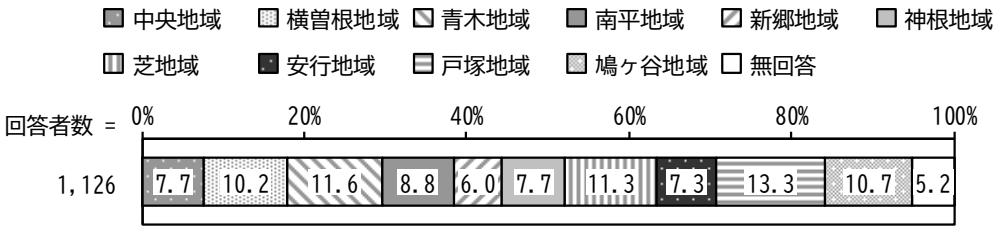
問５　あなたは、現在の収入での暮らしをどのように感じているかお答えください（ひとつに○）。

「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 11.9%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 40.2%となっています。

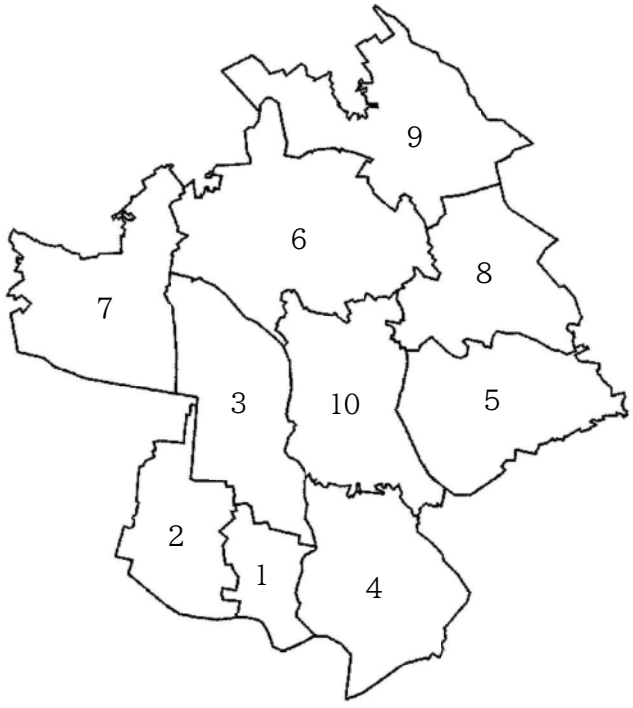


問６　あなたのお住まいの地域についてお答えください（ひとつに○）。

「戸塚地域」の割合が 13.3%と最も高く、次いで「青木地域」の割合が 11.6%、「芝地域」の割合が 11.3%となっています。



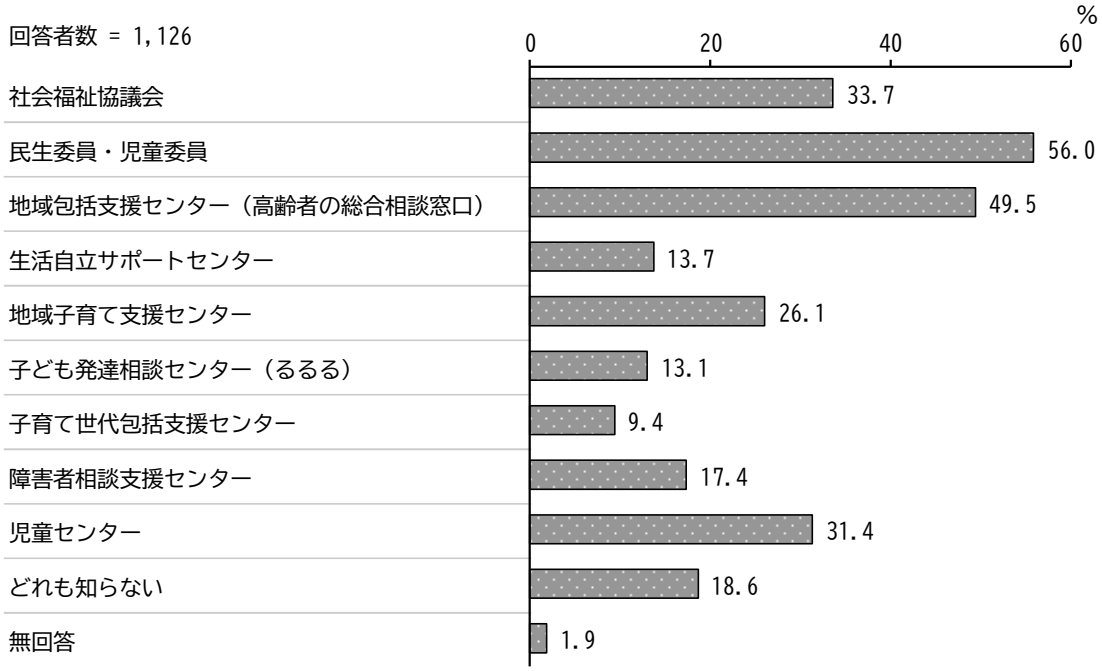
１．中央地域（本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口１～３丁目）
２．横曽根地域（川口４～６丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木）
３．青木地域（青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川）
４．南平地域（朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町）
５．新郷地域（赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀、新堀町、榛松、江戸、江戸袋、本蓮）
６．神根地域（安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曽呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町）
７．芝地域（芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎）
８．安行地域（安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽）
９．戸塚地域（戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鍛町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵）
10．鳩ヶ谷地域（坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和）



2　生活の状況について

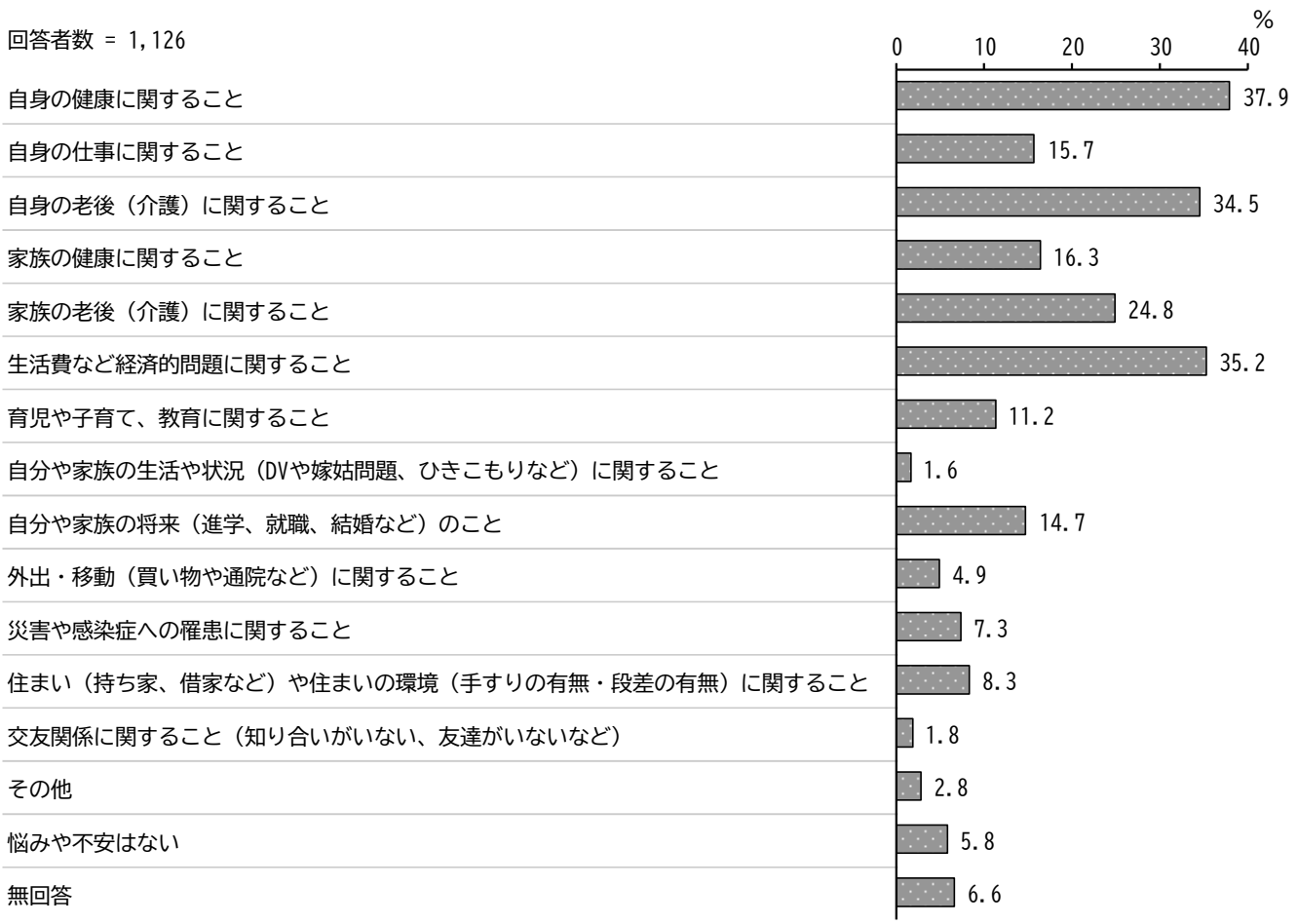
問７　あなたは、次のような地域福祉の拠点や組織等を知っていますか
（あてはまるものすべてに○）。

「民生委員・児童委員」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」の割合が 49.5%、「社会福祉協議会」の割合が 33.7%となっています。



問８　あなたの悩みや不安は何ですか（○は３つまで）。

「自身の健康に関すること」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「生活費など経済的問題に関すること」の割合が 35.2%、「自身の老後（介護）に関すること」の割合が 34.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自身の仕事に関すること」「育児や子育て、教育に関すること」の割合が高い傾向にあり、「自身の健康に関すること」「自身の老後（介護）に関すること」「外出・移動（買い物や通院など）に関すること」の割合が低い傾向にあります。また、18～39 歳で「生活費など経済的問題に関すること」「自分や家族の将来（進学、就職、結婚など）のこと」の割合が高くなっています。

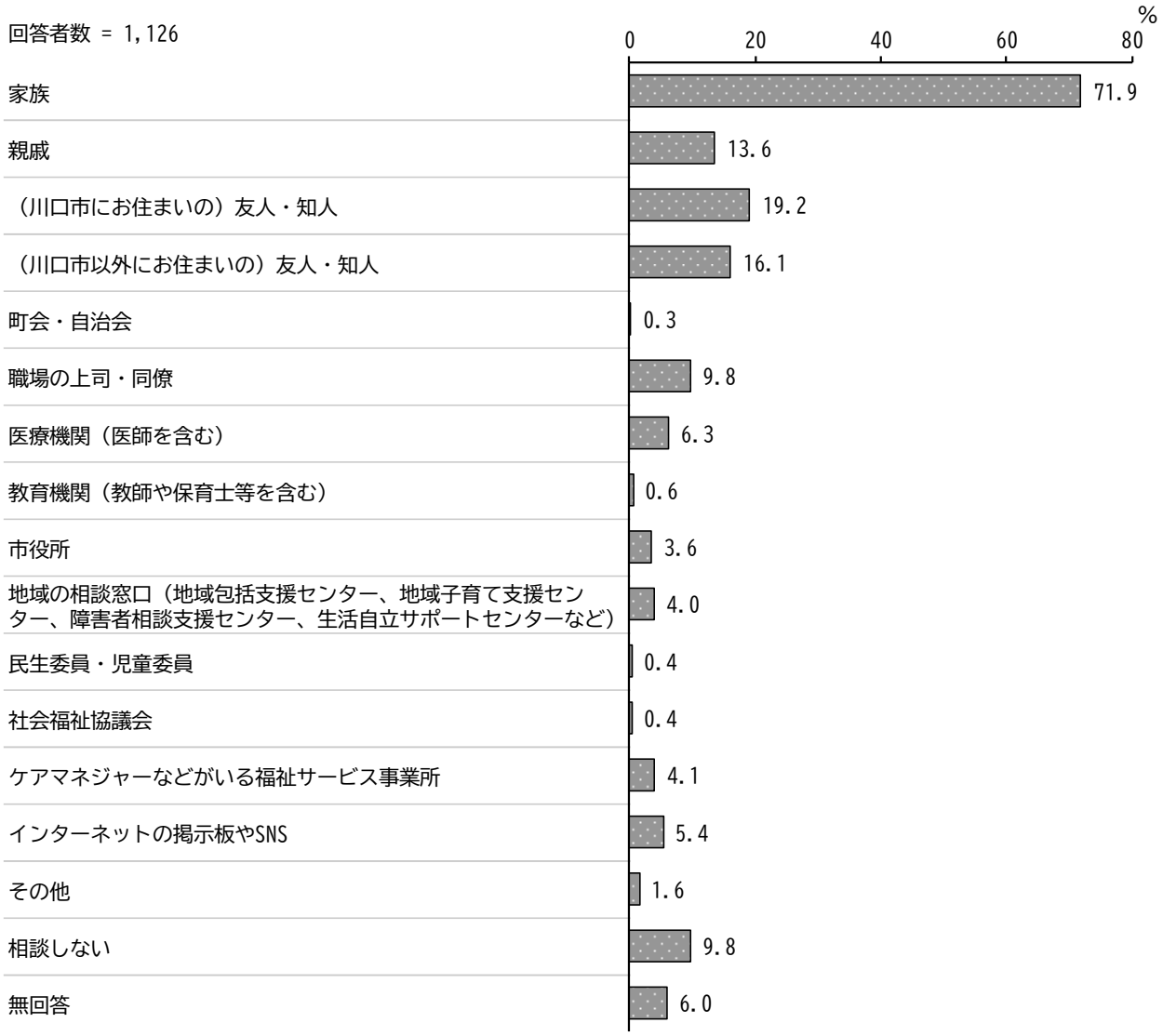
単位：％

区分	回答者数（件）	自身の健康に関すること	自身の仕事に関すること	自身の老後（介護）に関すること	家族の健康に関すること	家族の老後（介護）に関すること	生活費など経済的問題に関すること	育児や子育て、教育に関すること	自分や家族の生活や状況（DVや嫁姑問題、ひきこもりなど）に関すること
全　体	1,126	37.9	15.7	34.5	16.3	24.8	35.2	11.2	1.6
18～39歳	187	17.6	22.5	9.6	13.9	16.0	52.9	24.1	0.5
40～64歳	505	31.7	21.2	38.2	16.2	30.9	37.0	15.4	2.6
65～74歳	174	50.0	12.6	41.4	24.1	23.0	29.3	0.6	0.6
75～84歳	163	53.4	3.1	40.5	14.7	22.1	19.6	0.0	1.2
85歳以上	62	67.7	1.6	48.4	4.8	21.0	25.8	0.0	0.0

区分	自分や家族の将来（進学、就職、結婚など）のこと	外出・移動（買い物や通院など）に関すること	災害や感染症への罹患に関すること	住まい（持ち家、借家など）や住まいの環境（手すりの有無・段差の有無）に関すること	交友関係に関すること（知り合いがいない、友達がいないなど）	その他	悩みや不安はない	無回答
全　体	14.7	4.9	7.3	8.3	1.8	2.8	5.8	6.6
18～39歳	32.1	3.2	9.6	7.5	3.2	5.3	4.8	4.8
40～64歳	16.6	1.6	6.7	9.5	1.8	3.4	3.4	5.1
65～74歳	5.7	4.6	7.5	8.0	1.1	1.7	9.8	5.2
75～84歳	3.1	11.7	8.0	7.4	1.2	0.0	10.4	11.7
85歳以上	4.8	16.1	3.2	4.8	0.0	1.6	6.5	6.5

問９　あなたは、日々の生活で困ったことがあるときに誰に相談していますか（〇は３つまで）。

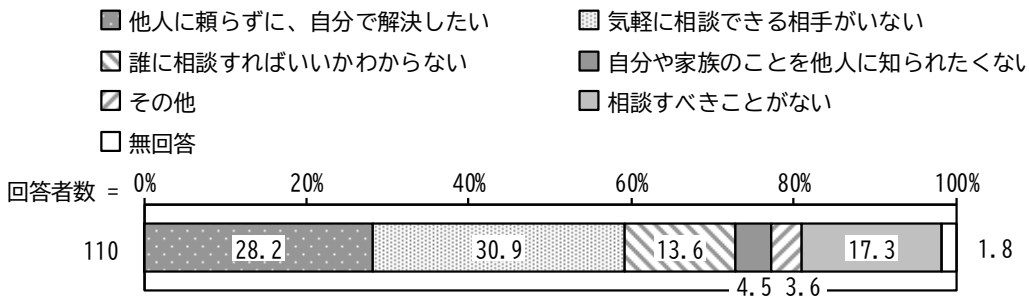
「家族」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「(川口市にお住まいの) 友人・知人」の割合が 19.2%、「(川口市以外にお住まいの) 友人・知人」の割合が 16.1%となっています。



問９で「相談しない」と回答した方にうかがいます。

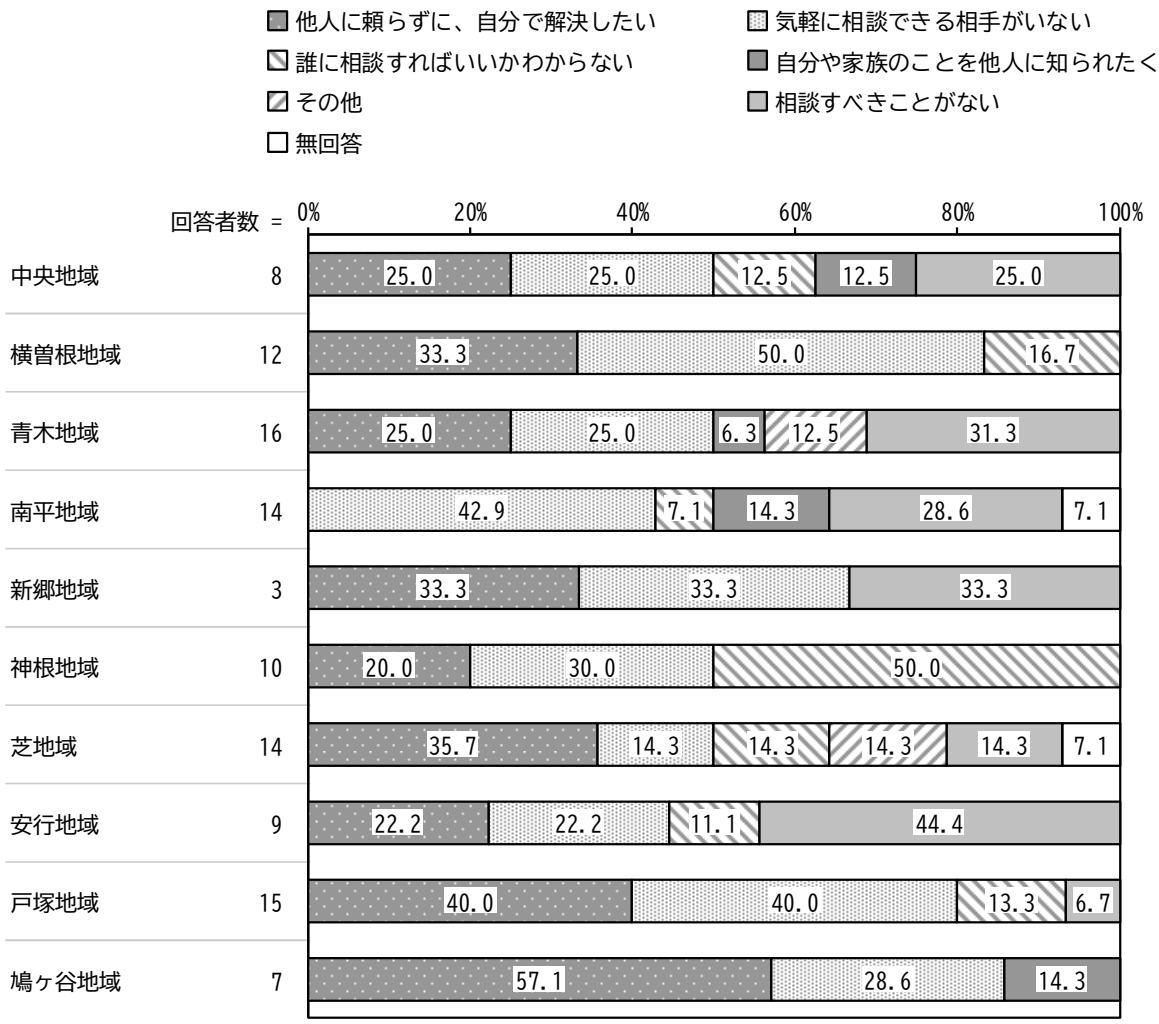
問９－１　相談しない理由は何ですか（ひとつに〇）。

「気軽に相談できる相手がいない」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「他人に頼らずに、自分で解決したい」の割合が 28.2%、「誰に相談すればいいかわからない」の割合が 13.6%となっています。



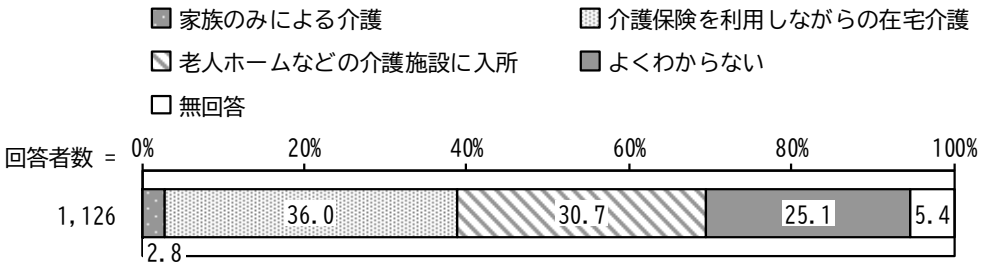
【居住地域別】

居住地域別にみると、戸塚地域で「他人に頼らずに、自分で解決したい」、横曽根地域で「気軽に相談できる相手がいない」、神根地域で「誰に相談すればいいかわからない」の割合が高くなっています。



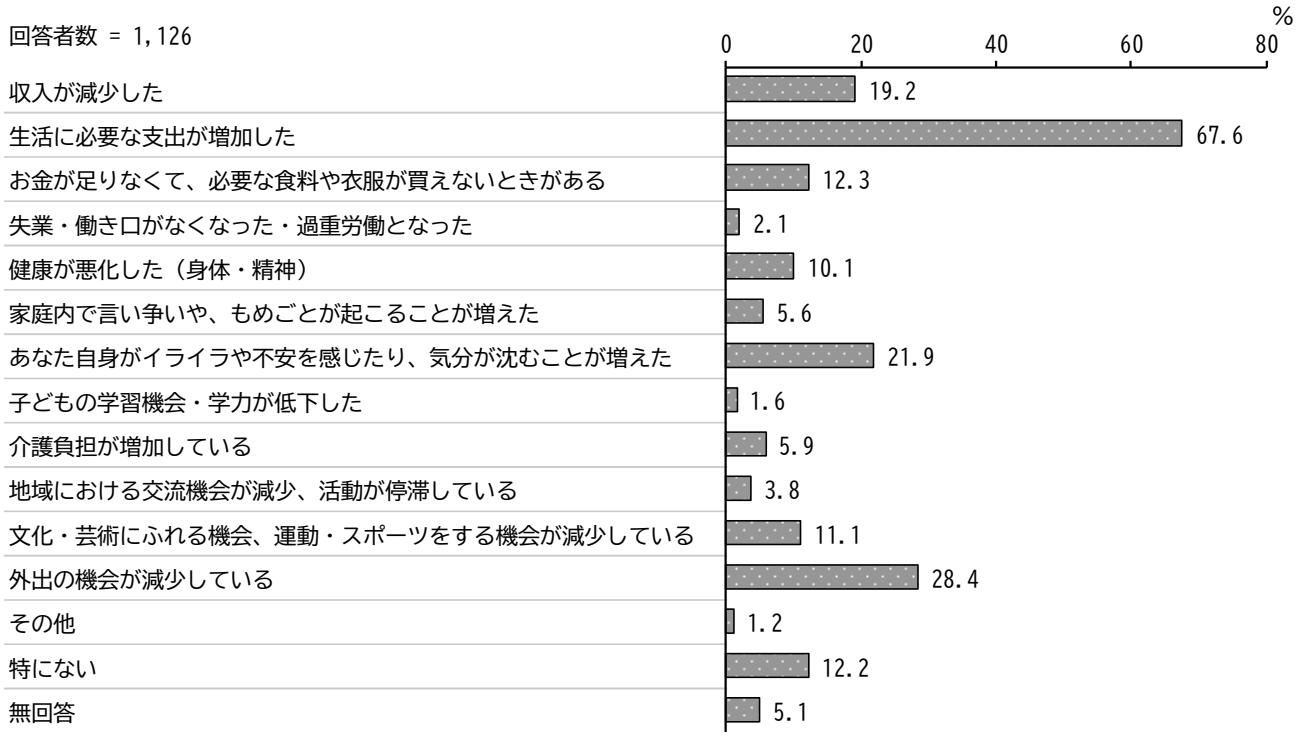
問 10　あなた（あてなご本人）に介護が必要な状態になった場合に、どのような介護を望まれますか（ひとつに○）。

「介護保険を利用しながらの在宅介護」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」の割合が 30.7%、「よくわからない」の割合が 25.1%となっています。



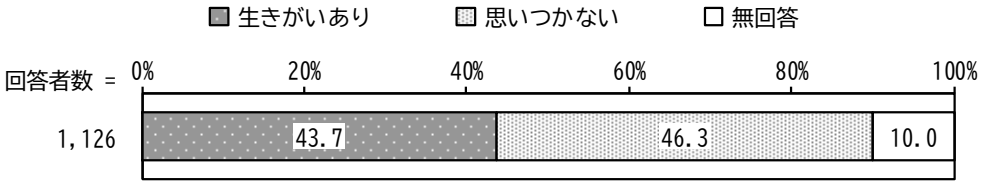
問 11　あなたや、ご家庭の現在の生活は、最近の社会情勢（感染症、物価高、災害等）の変化によって、どのように変わりましたか（あてはまるものすべてに〇）。

「生活に必要な支出が増加した」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「外出の機会が減少している」の割合が 28.4%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むことが増えた」の割合が 21.9%となっています。



問 12　あなたは生きがいを感じることがありますか（ひとつに○）。

「生きがいあり」の割合が 43.7%、「思いつかない」の割合が 46.3%となっています。



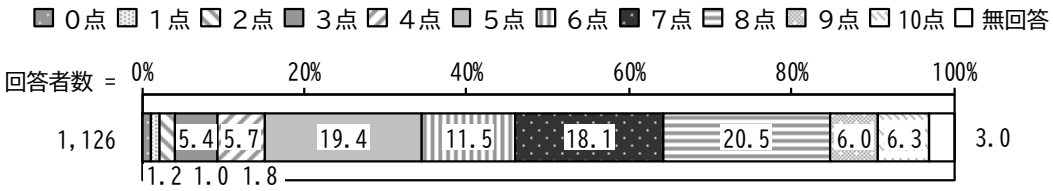
生きがいを感じること

生きがいを感じることについて以下のような内容がありました。

No	内容	件数
1	子育て・家族の成長	224 件
2	趣味・レジャー・余暇	186 件
3	仕事・キャリア	86 件
4	健康・心身の充実	67 件
5	他者との交流・人間関係	37 件
6	ボランティア・地域社会貢献	16 件
7	その他	5件

問 13　あなたは、現在どの程度幸せですか。
「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご回答ください（ひとつに○）。

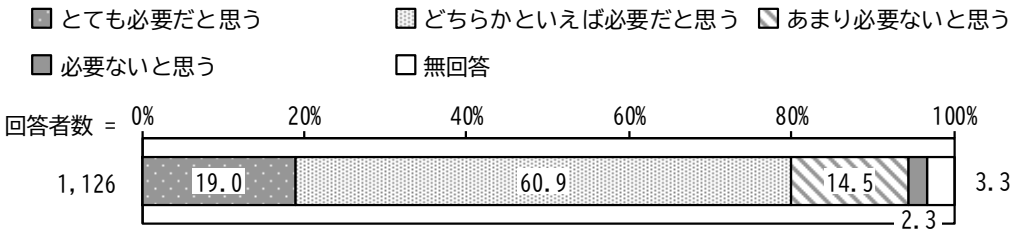
「８点」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「５点」の割合が 19.4%、「７点」の割合が 18.1%となっています。



3　地域とのつながりについて

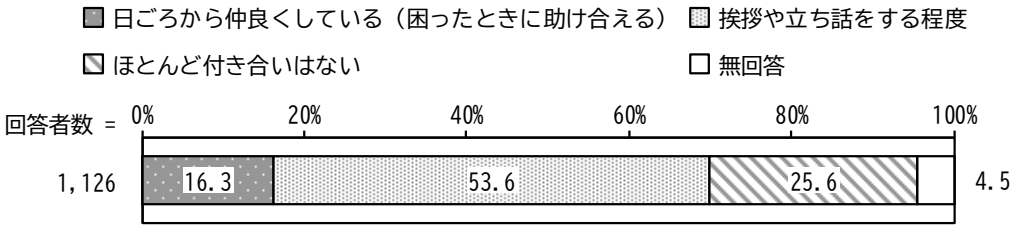
問 14　あなたは、地域とのつながりは必要だと思いますか（ひとつに○）。

「とても必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた“必要”の割合が 79.9%、「あまり必要ないと思う」「必要ないと思う」を合わせた“不要”の割合が 16.8%となっています。



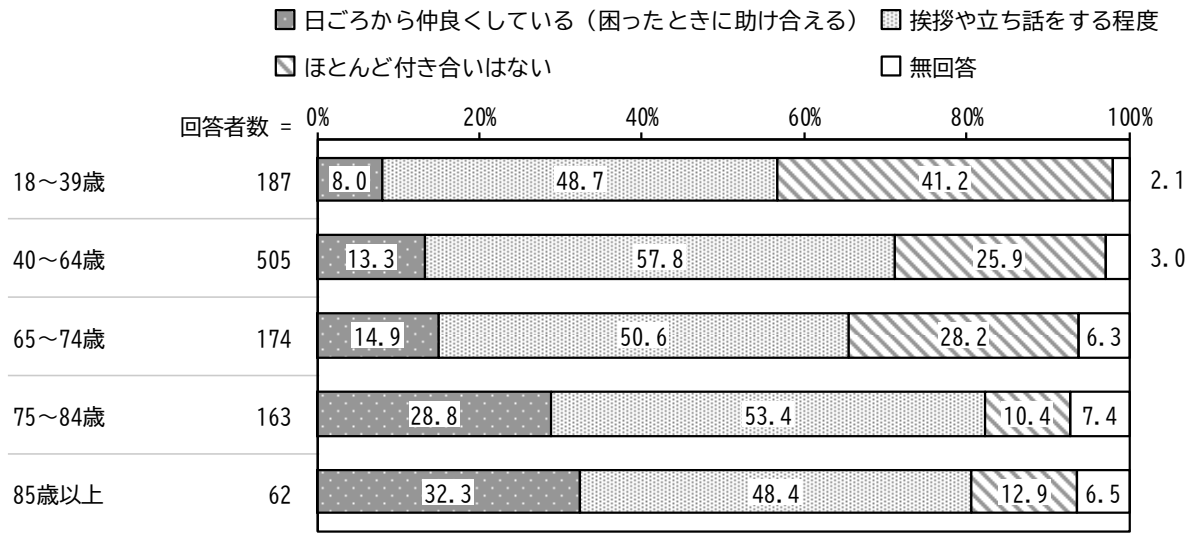
問 15　あなたは、近所とのお付き合いをどの程度していますか（ひとつに○）。

「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」の割合が 16.3%、「挨拶や立ち話をする程度」の割合が 53.6%、「ほとんど付き合いはない」の割合が 25.6%となっています。



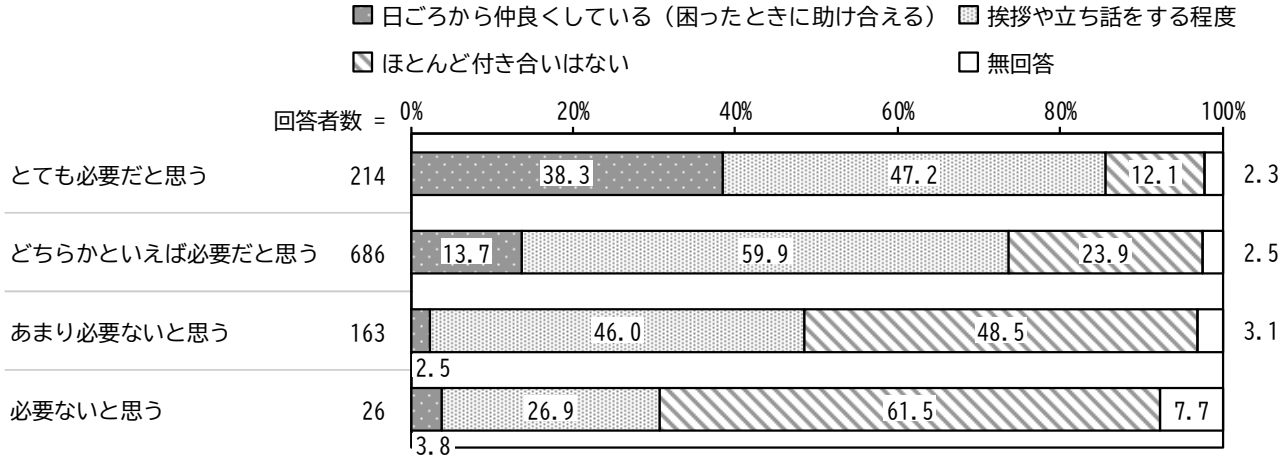
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」の割合が高くなっています。また、18～39 歳で「ほとんど付き合いはない」の割合が高くなっています。



【地域とのつながりの必要性別】

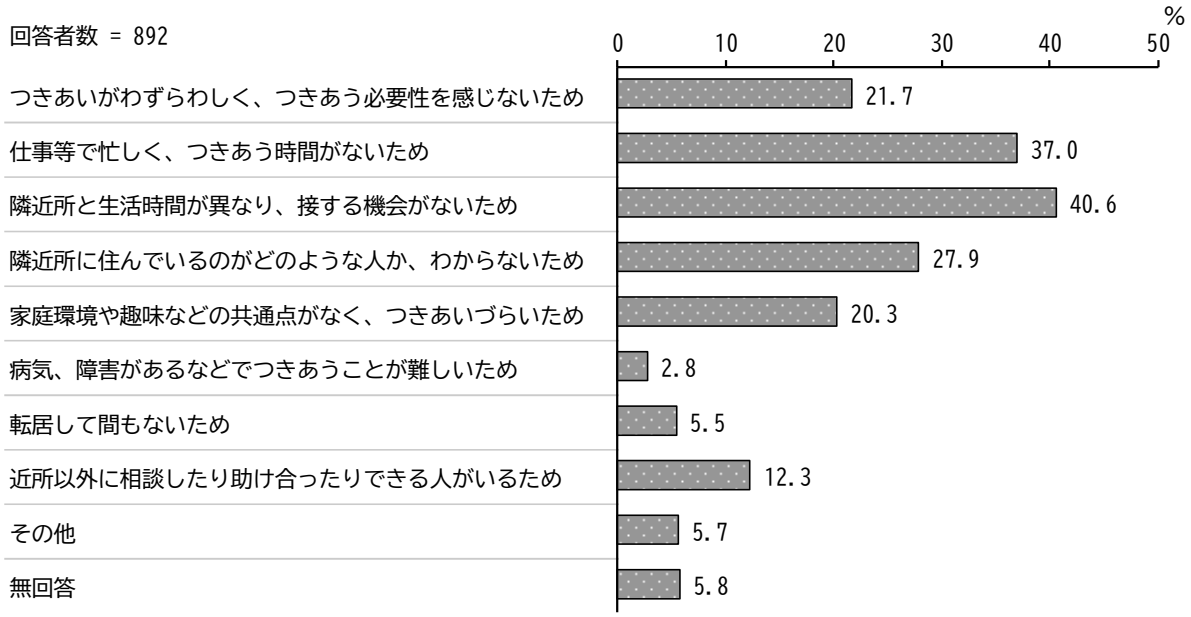
地域とのつながりの必要性別にみると、必要ないと思う人ほど「ほとんど付き合いはない」の割合が高くなっています。また、『とても必要だと思う』で「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」の割合が高くなっています。



問 15 で「挨拶や立ち話をする程度」「ほとんど付き合いはない」と回答した方にうかがいます。

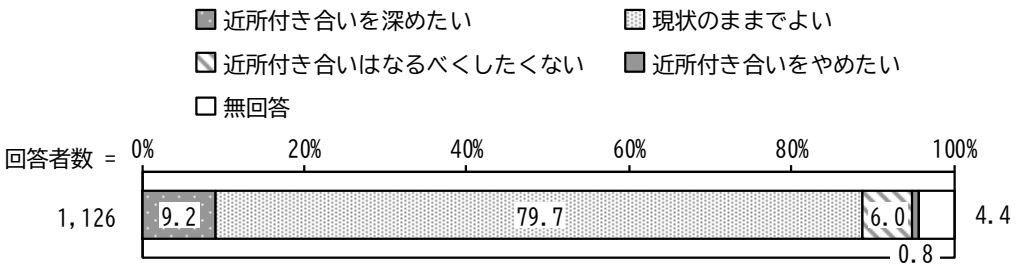
問 15－１　近所付き合いがあまりないのはなぜですか（あてはまるものすべてに○）。

「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 37.0%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が 27.9%となっています。



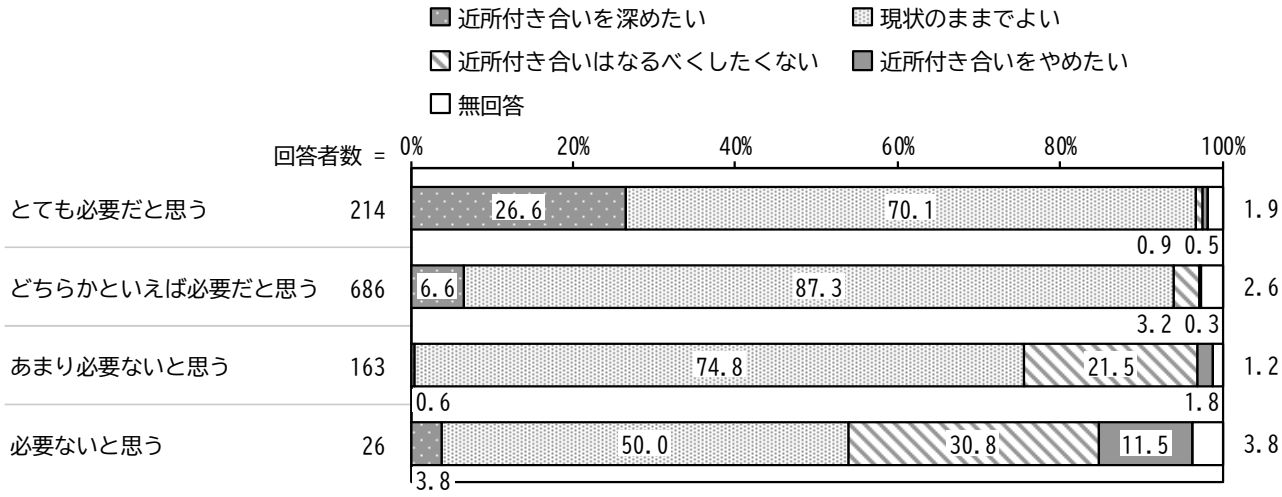
問 16　あなたは、近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか（ひとつに○）。

「現状のままでよい」の割合が 79.7%と最も高くなっています。



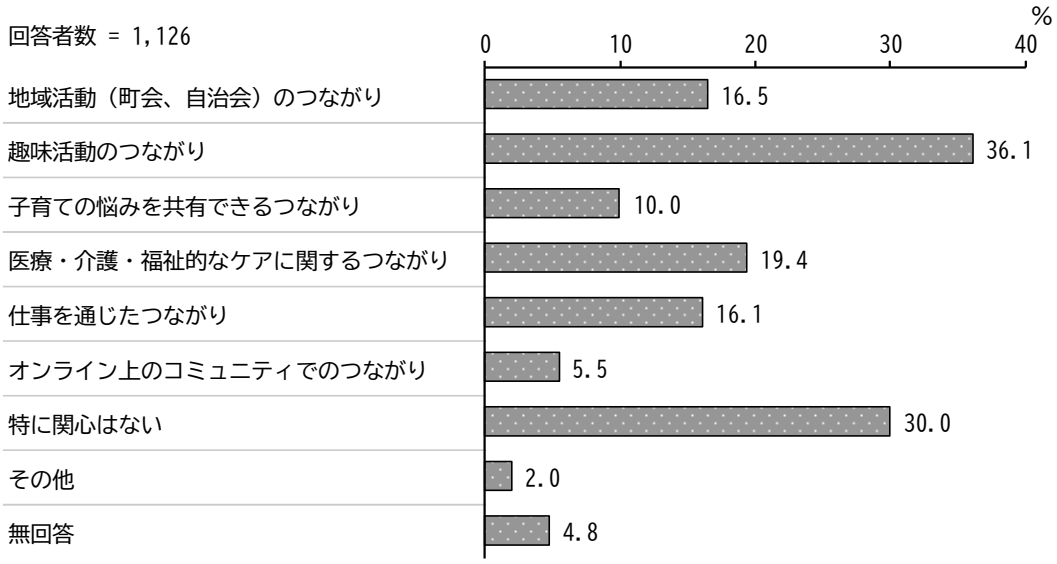
【地域とのつながりの必要性別】

地域とのつながりの必要性別にみると、必要ないと思う人ほど「近所付き合いはなるべくしたくない」の割合が高くなっています。また、『とても必要だと思う』で「近所付き合いを深めたい」の割合が高くなっています。



問 16－１　近所付き合い以外でどんなつながりに関心がありますか
（あてはまるものすべてに○）。

「趣味活動のつながり」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉的なケアに関するつながり」の割合が 19.4%、「地域活動（町会、自治会）のつながり」の割合が 16.5%となっています。

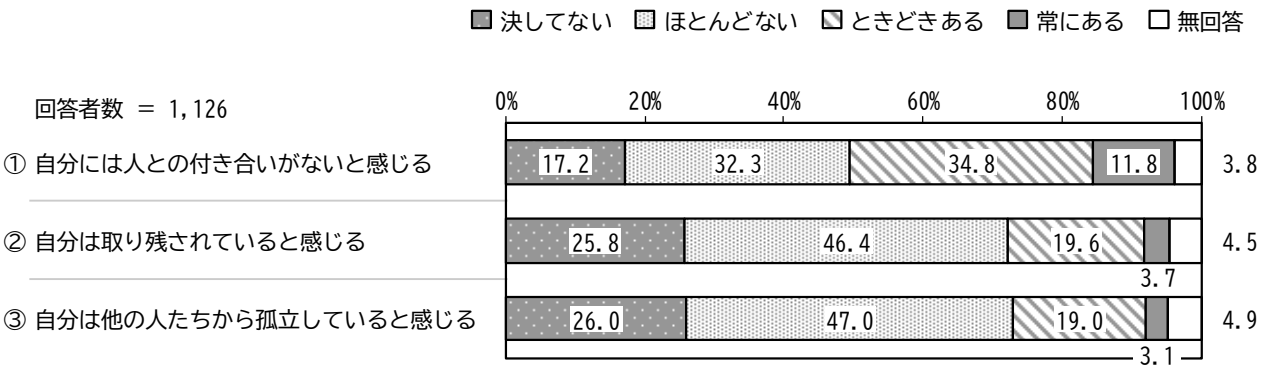


問 17　あなたは、次の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか
（それぞれひとつに○）。

『①自分には人との付き合いがないと感じる』について、「ときどきある」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 32.3%、「決してない」の割合が 17.2%となっています。

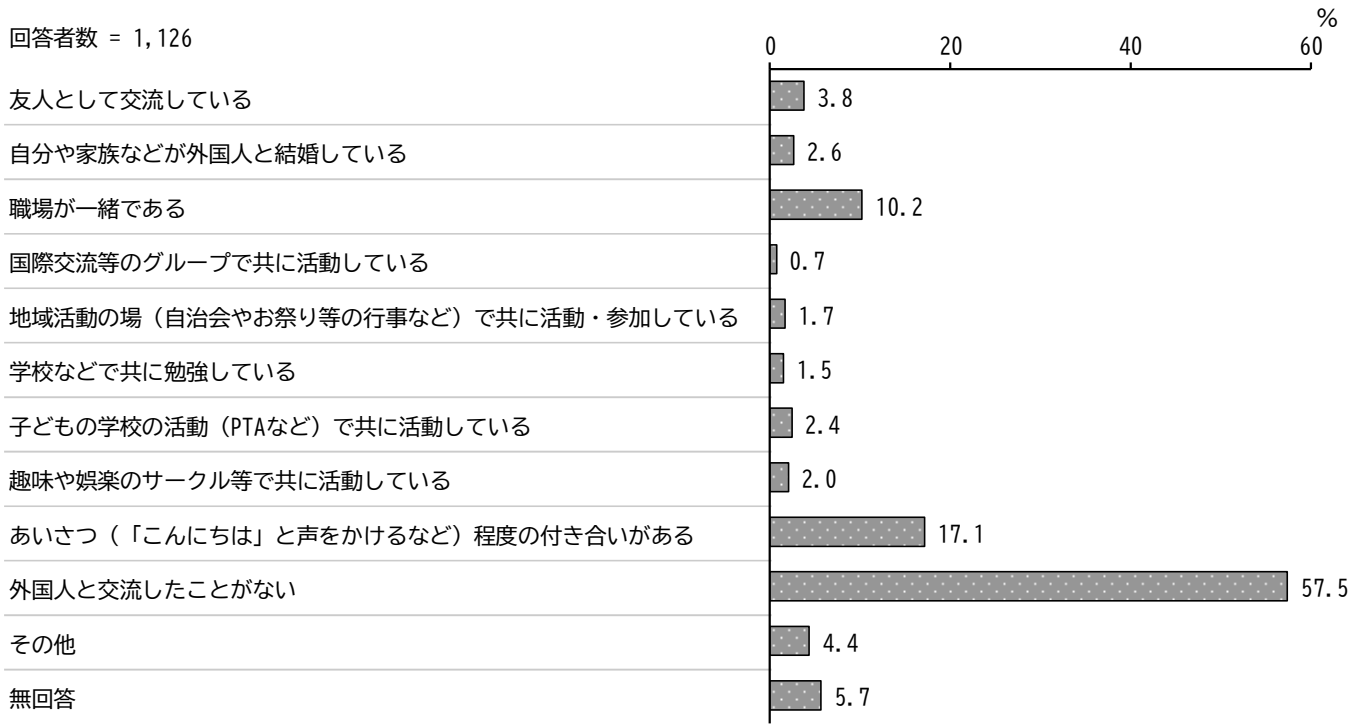
『②自分は取り残されていると感じる』について、「ほとんどない」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「決してない」の割合が 25.8%、「ときどきある」の割合が 19.6%となっています。

『③自分は他の人たちから孤立していると感じる』について、「ほとんどない」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「決してない」の割合が 26.0%、「ときどきある」の割合が 19.0%となっています。



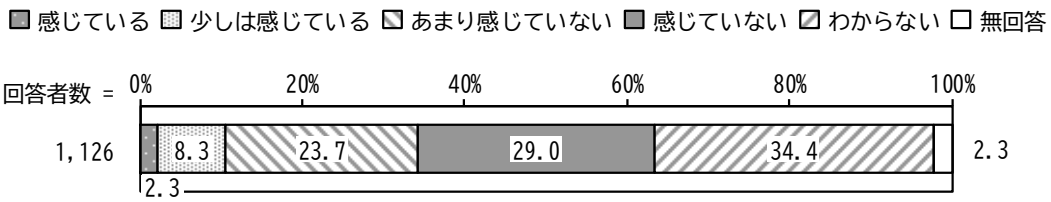
問 18　川口市内で活動されている外国人とあなたとの交流について、現在の交流だけでなく、過去の交流も含めてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

「外国人と交流したことがない」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「あいさつ（「こんにちは」と声をかけるなど）程度の付き合いがある」の割合が 17.1%、「職場が一緒である」の割合が 10.2%となっています。



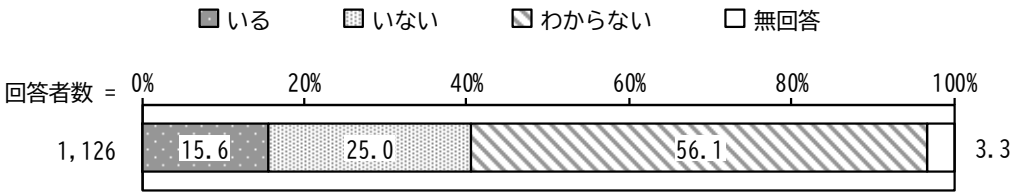
問 19　あなたがお住まいの地域では、高齢や障害、子育て、ひきこもり、貧困・困窮、ヤングケアラー、外国籍などを含めて、お互いの生活を地域全体で支えあっていると感じますか（ひとつに○）。

「感じていない」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「あまり感じていない」の割合が 23.7%となっています。



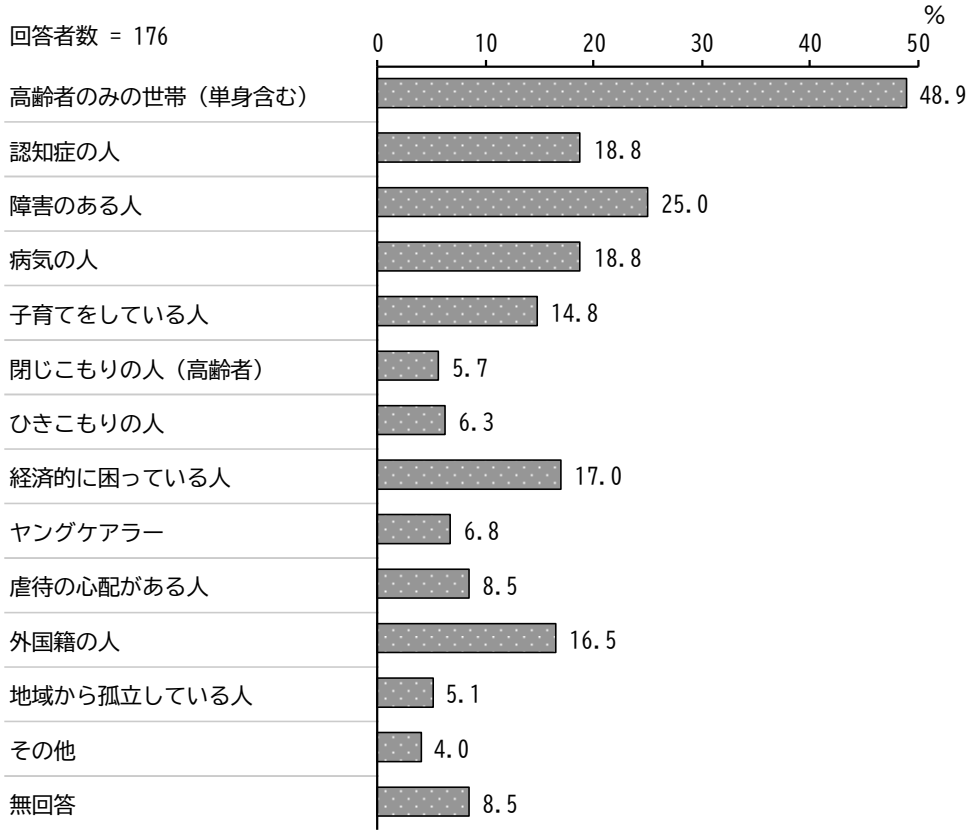
問 20　あなたのお住まいの近所に、日常生活を送るうえで気にかかる（支援が必要と思われる）方はいますか（ひとつに○）。

「いる」の割合が 15.6%、「いない」の割合が 25.0%となっています。



気にかかる方の内訳（あてはまるものすべてに○）。

「高齢者のみの世帯（単身含む）」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「障害のある人」の割合が 25.0%、「認知症の人」、「病気の人」の割合が 18.8%となっています。

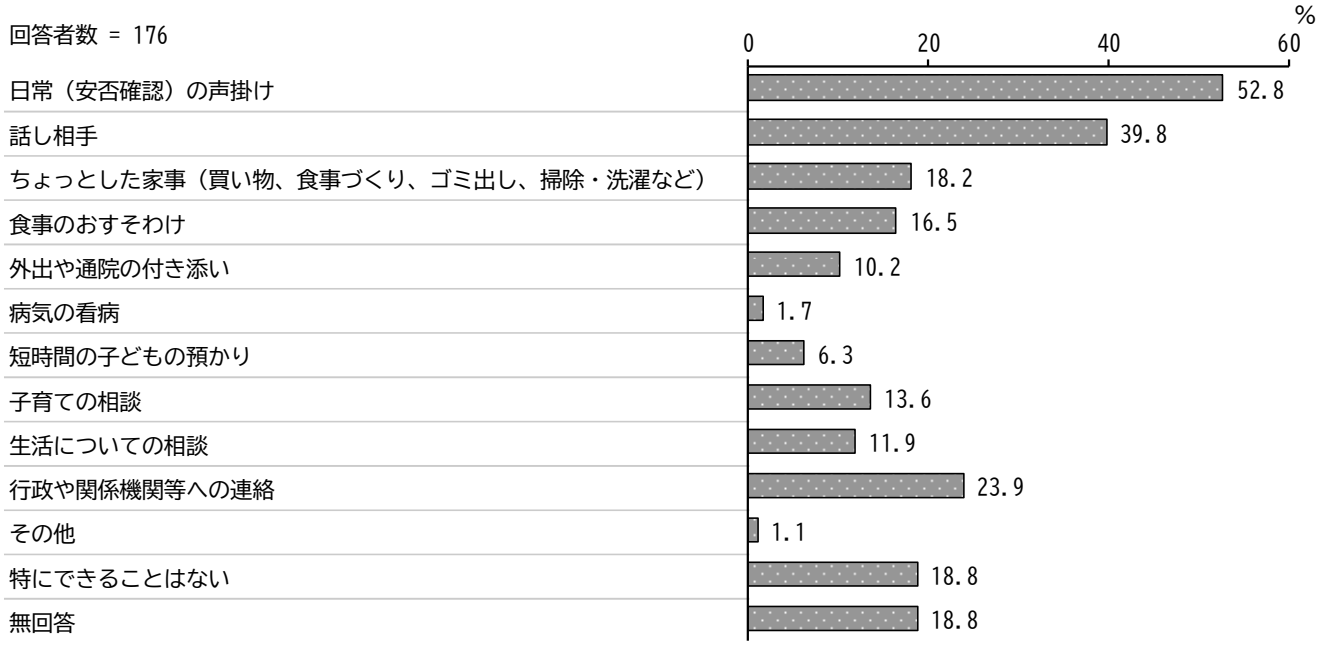


問 20 で「いる」と回答した方にうかがいます。

問 21　近所に困っている方がいる場合、「１：あなたができること」は何ですか。また、あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「２：地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか
（①～⑬についてあてはまるものすべてに○。※該当するものがない場合は回答不要）。

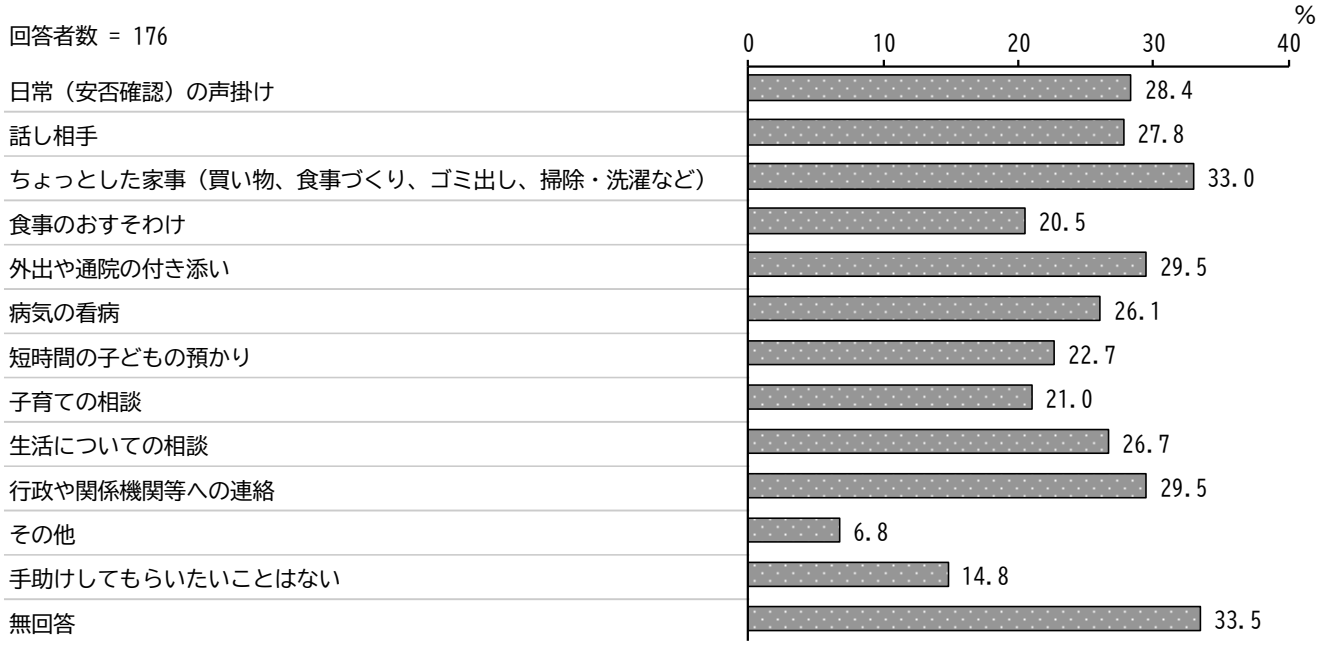
１：あなたができること

「日常（安否確認）の声掛け」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が 39.8%、「行政や関係機関等への連絡」の割合が 23.9%となっています。



２：地域の方々に手助けをしてもらいたいこと

「ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「外出や通院の付き添い」、「行政や関係機関等への連絡」の割合が 29.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど全項目の割合が高くなる傾向にあり、40～64 歳では「ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」の割合が 43.4%と最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	日常（安否確認）の声掛け	話し相手	ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）	食事のおすそわけ	外出や通院の付き添い	病気の看病	短時間の子どもの預かり	子育ての相談	生活についての相談	行政や関係機関等への連絡	その他	手助けしてもらいたいことはない	無回答
全　体	176	28.4	27.8	33.0	20.5	29.5	26.1	22.7	21.0	26.7	29.5	6.8	14.8	33.5
18～39歳	28	28.6	32.1	39.3	28.6	42.9	39.3	25.0	42.9	35.7	39.3	14.3	17.9	25.0
40～64歳	76	39.5	39.5	43.4	27.6	36.8	35.5	34.2	25.0	36.8	39.5	6.6	15.8	21.1
65～74歳	36	16.7	11.1	22.2	11.1	19.4	11.1	16.7	13.9	11.1	19.4	8.3	19.4	50.0
75～84歳	26	15.4	11.5	15.4	11.5	19.2	7.7	3.8	3.8	15.4	15.4	0.0	7.7	50.0
85歳以上	6	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

【居住地域別】

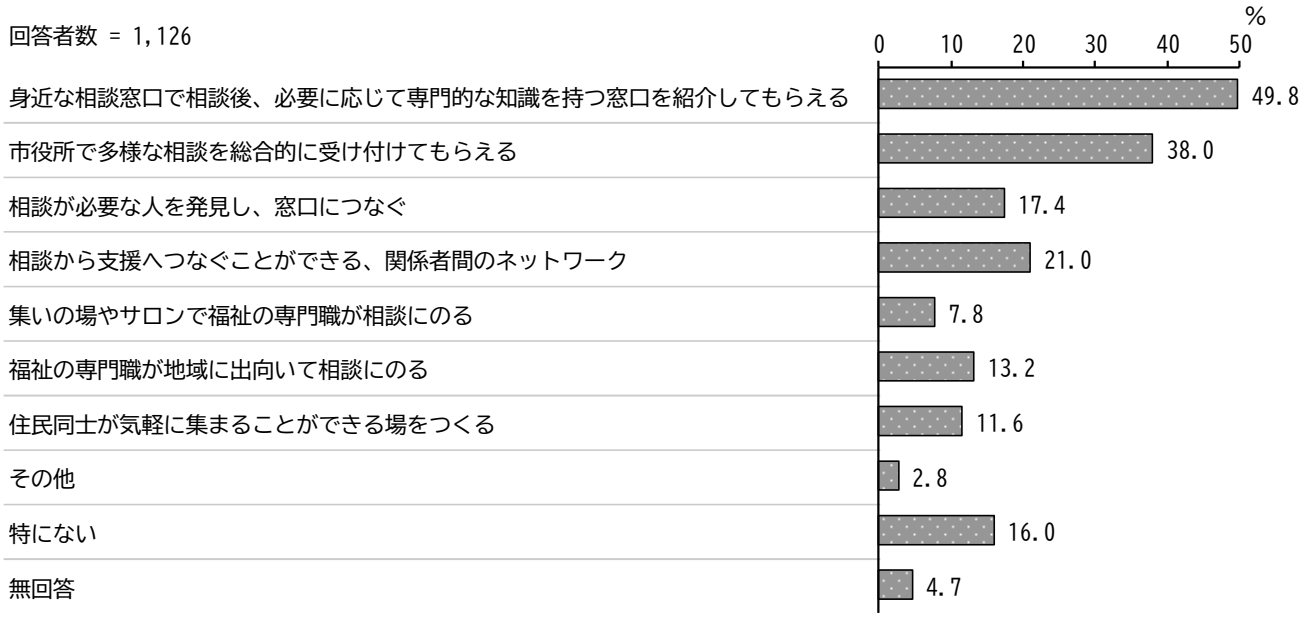
居住地域別にみると、戸塚地域で「日常（安否確認）の声掛け」「ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」「病気の看病」、神根地域、安行地域で「話し相手」「生活についての相談」、神根地域で「食事のおすそわけ」、神根地域、戸塚地域で「外出や通院の付き添い」「短時間の子どもの預かり」、安行地域で「子育ての相談」、青木地域、戸塚地域で「行政や関係機関等への連絡」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	日常（安否確認）の声掛け	話し相手	ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）	食事のおすそわけ	外出や通院の付き添い	病気の看病	短時間の子どもの預かり	子育ての相談	生活についての相談	行政や関係機関等への連絡	その他	手助けしてもらいたいことはない	無回答
全　体	176	28.4	27.8	33.0	20.5	29.5	26.1	22.7	21.0	26.7	29.5	6.8	14.8	33.5
中央地域	17	29.4	23.5	35.3	17.6	17.6	17.6	17.6	23.5	17.6	23.5	11.8	23.5	17.6
横曽根地域	17	23.5	23.5	11.8	5.9	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8	0.0	11.8	52.9
青木地域	21	28.6	23.8	28.6	23.8	38.1	28.6	28.6	19.0	23.8	47.6	4.8	9.5	28.6
南平地域	17	17.6	5.9	23.5	11.8	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	52.9
新郷地域	12	16.7	33.3	41.7	33.3	41.7	41.7	33.3	33.3	41.7	41.7	16.7	16.7	33.3
神根地域	16	25.0	43.8	43.8	43.8	50.0	43.8	37.5	25.0	43.8	37.5	0.0	12.5	31.3
芝地域	20	30.0	30.0	35.0	25.0	25.0	25.0	20.0	20.0	35.0	30.0	10.0	15.0	35.0
安行地域	11	36.4	45.5	36.4	9.1	36.4	36.4	18.2	45.5	45.5	36.4	9.1	27.3	27.3
戸塚地域	20	40.0	40.0	60.0	40.0	50.0	50.0	40.0	25.0	40.0	45.0	5.0	10.0	25.0
鳩ヶ谷地域	18	33.3	22.2	27.8	0.0	16.7	11.1	22.2	27.8	22.2	22.2	11.1	22.2	27.8

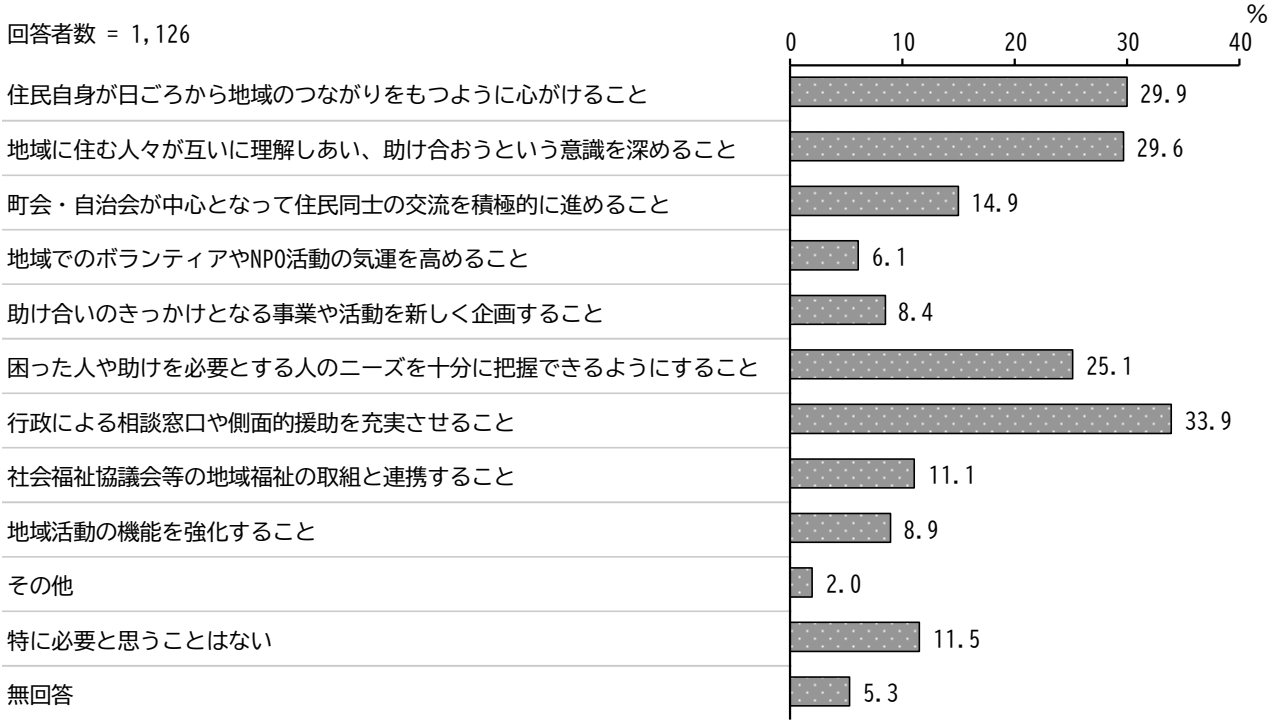
問 22　あなたは、日常生活に困りごとがあったときや、気がかりな人に気づいたとき、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思いますか（あてはまるものすべてに○）。

「身近な相談窓口で相談後、必要に応じて専門的な知識を持つ窓口を紹介してもらえる」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」の割合が 38.0%、「相談から支援へつなぐことができる、関係者間のネットワーク」の割合が 21.0%となっています。



問 23　地域で助け合いの輪を広げていくために、特に必要だと思うことはどのようなことですか（○は３つまで）。

「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること」の割合が 29.9%、「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」の割合が 29.6%となっています。



【居住地域別】

居住地域別にみると、安行地域で「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」、青木地域、鳩ヶ谷地域で「困った人や助けを必要とする人のニーズを十分に把握できるようにすること」、青木地域で「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」、鳩ヶ谷地域で「社会福祉協議会等の地域福祉の取組と連携すること」、中央地域で「地域活動の機能を強化すること」の割合が高くなっています。

単位：％

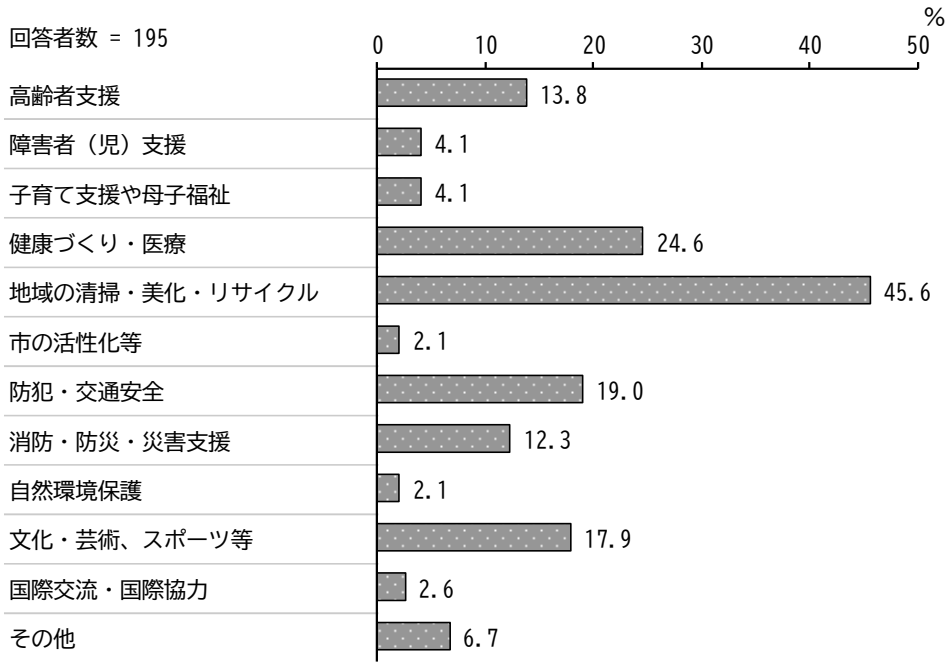
区分	回答者数（件）	住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること	地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること	町会・自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること	地域でのボランティアやNPO活動の気運を高めること	助け合いのきっかけとなる事業や活動を新しく企画すること	困った人や助けを必要とする人のニーズを十分に把握できるようにすること	行政による相談窓口や側面的援助を充実させること	社会福祉協議会等の地域福祉の取組と連携すること	地域活動の機能を強化すること	その他	特に必要と思うことはない	無回答
全　体	1,126	29.9	29.6	14.9	6.1	8.4	25.1	33.9	11.1	8.9	2.0	11.5	5.3
中央地域	87	27.6	32.2	19.5	6.9	8.0	18.4	32.2	9.2	17.2	6.9	9.2	5.7
横曽根地域	115	26.1	32.2	17.4	1.7	12.2	27.8	36.5	9.6	12.2	0.9	8.7	4.3
青木地域	131	32.1	32.8	16.0	5.3	9.9	32.8	40.5	11.5	10.7	1.5	6.9	1.5
南平地域	99	28.3	24.2	11.1	9.1	12.1	28.3	34.3	14.1	7.1	0.0	10.1	6.1
新郷地域	68	26.5	26.5	11.8	4.4	4.4	22.1	30.9	13.2	10.3	4.4	17.6	1.5
神根地域	87	29.9	26.4	17.2	3.4	3.4	20.7	37.9	14.9	9.2	1.1	13.8	5.7
芝地域	127	30.7	26.8	12.6	9.4	8.7	20.5	33.9	8.7	4.7	1.6	18.1	7.9
安行地域	82	28.0	36.6	9.8	3.7	6.1	24.4	29.3	11.0	8.5	1.2	15.9	4.9
戸塚地域	150	34.7	29.3	12.7	9.3	8.7	24.0	33.3	8.0	6.7	2.7	12.0	3.3
鳩ヶ谷地域	121	30.6	32.2	17.4	6.6	8.3	30.6	28.9	16.5	7.4	1.7	8.3	7.4

４　地域活動について

問 24　あなたが「１：現在参加している地域活動」と「２：今後取り組んでみたい地域活動」は何ですか
（①～⑫についてあてはまるものすべてに○。※該当するものがない場合は回答不要）。

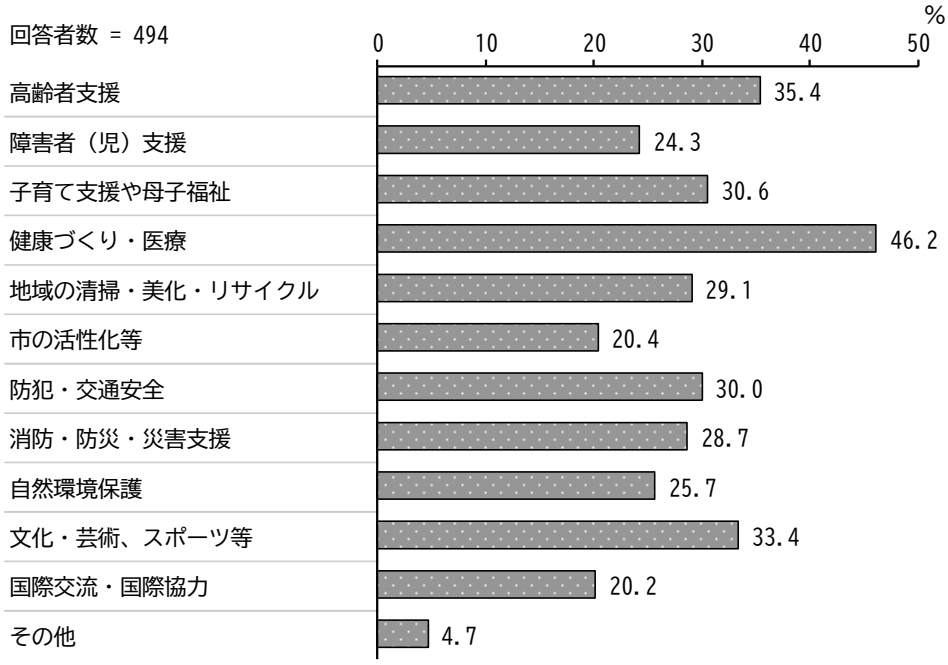
１：現在参加している地域活動

「地域の清掃・美化・リサイクル」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「健康づくり・医療」の割合が 24.6%、「防犯・交通安全」の割合が 19.0%となっています。



２：今後取り組んでみたい地域活動

「健康づくり・医療」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「高齢者支援」の割合が 35.4%、「文化・芸術、スポーツ等」の割合が 33.4%となっています。



【年齢別】

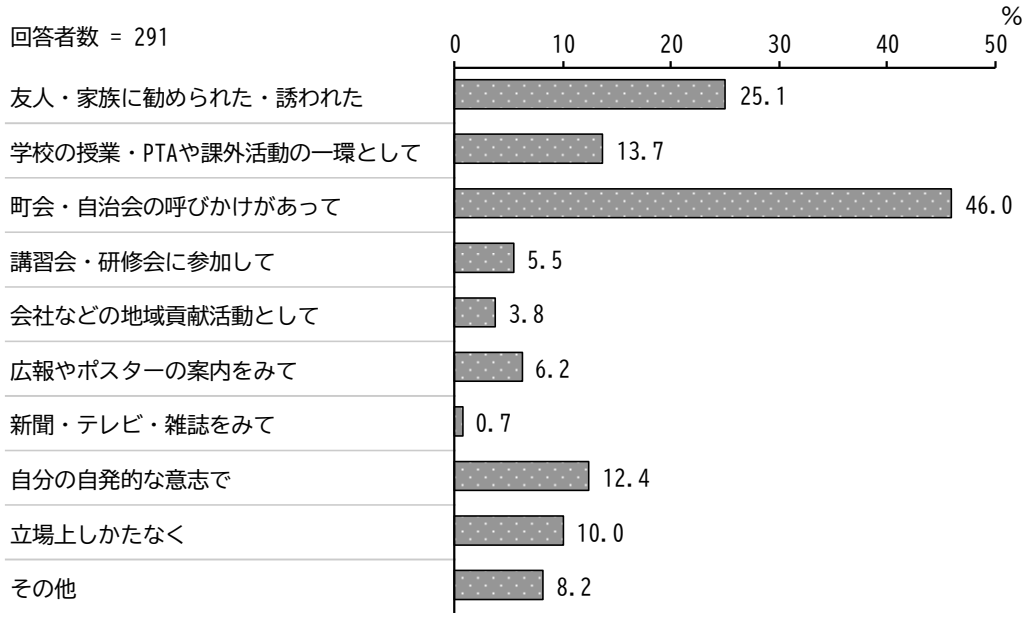
年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害者（児）支援」「子育て支援や母子福祉」「地域の清掃・美化・リサイクル」「市の活性化等」「消防・防災・災害支援」「文化・芸術、スポーツ等」「国際交流・国際協力」の割合が高い傾向にあります。また、18～39 歳で「高齢者支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢者支援	障害者（児）支援	子育て支援や母子福祉	健康づくり・医療	地域の清掃・美化・リサイクル	市の活性化等	防犯・交通安全	消防・防災・災害支援	自然環境保護	文化・芸術、スポーツ等	国際交流・国際協力	その他
全　体	494	35.4	24.3	30.6	46.2	29.1	20.4	30.0	28.7	25.7	33.4	20.2	4.7
18～39歳	106	53.8	36.8	46.2	38.7	39.6	29.2	39.6	38.7	30.2	50.0	29.2	7.5
40～64歳	247	36.4	26.3	32.4	45.3	30.0	23.1	31.2	27.1	26.7	33.2	20.2	5.3
65～74歳	73	17.8	11.0	17.8	54.8	20.5	11.0	20.5	28.8	27.4	21.9	15.1	1.4
75～84歳	54	18.5	9.3	11.1	55.6	18.5	9.3	14.8	18.5	9.3	18.5	13.0	0.0
85歳以上	9	33.3	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0

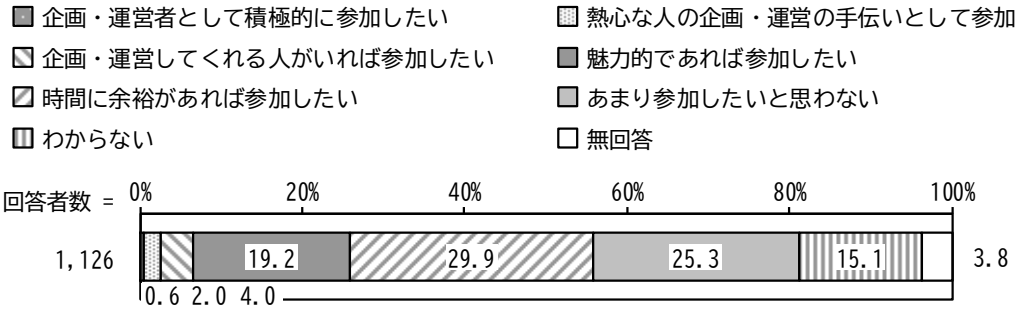
問 25　地域活動に参加した「きっかけ」は何ですか
（あてはまるものすべてに○。※該当するものがない場合は回答不要）。

「町会・自治会の呼びかけがあって」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「友人・家族に勧められた・誘われた」の割合が 25.1%、「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が 13.7%となっています。



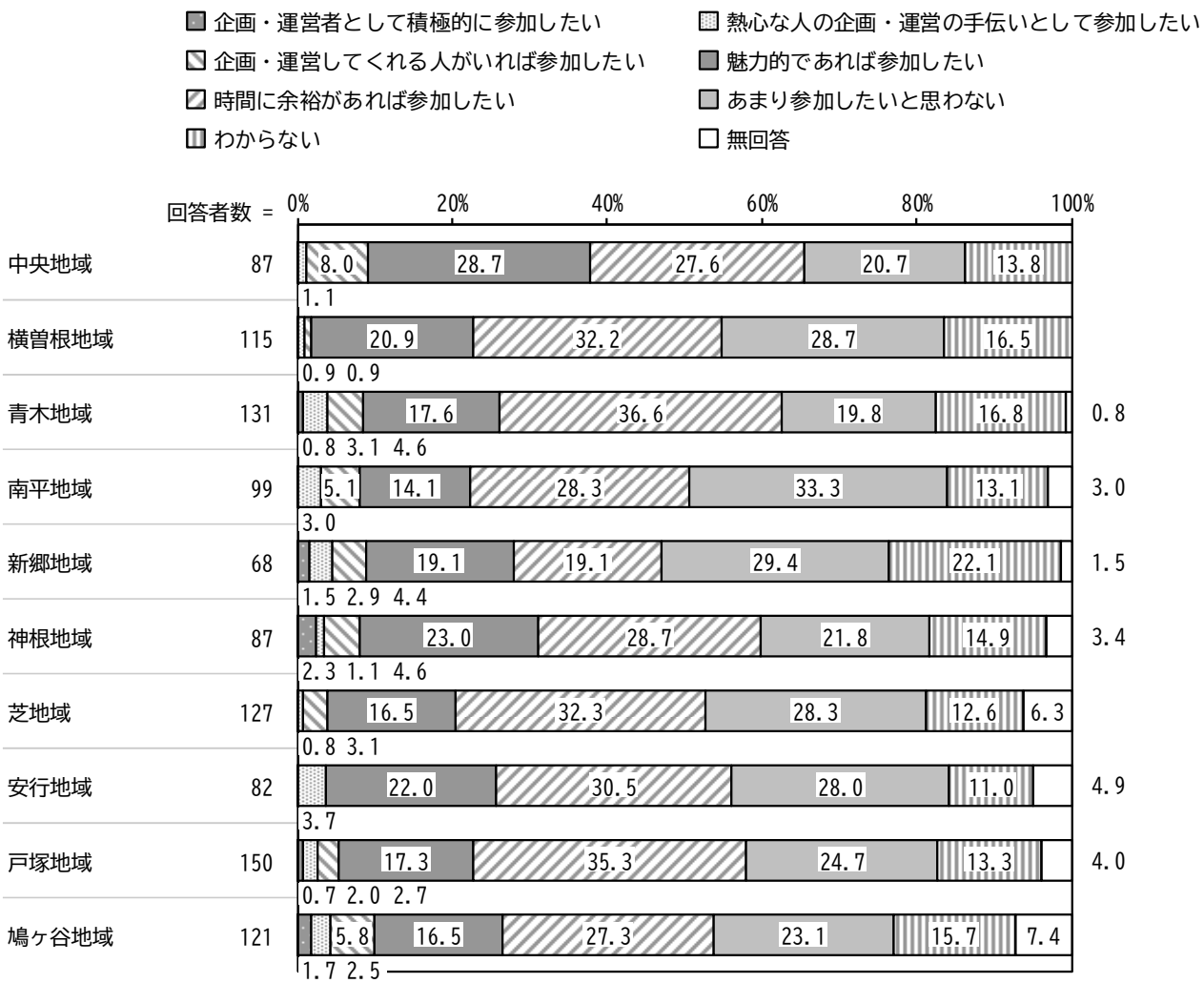
問 26　今後、あなたに地域活動への参加の依頼があった場合、どうしますか（ひとつに○）。

「時間に余裕があれば参加したい」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「あまり参加したいと思わない」の割合が 25.3%、「魅力的であれば参加したい」の割合が 19.2%となっています。



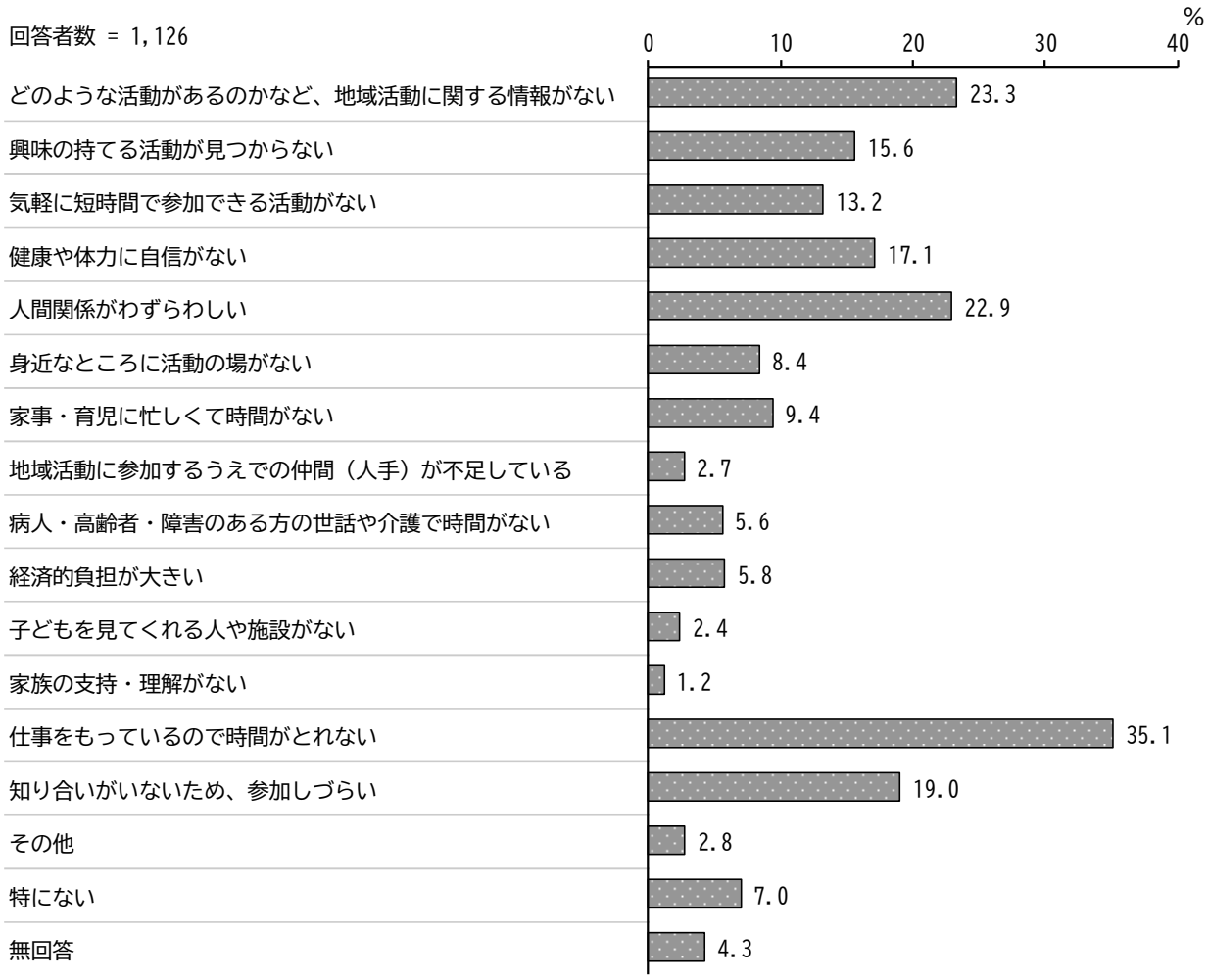
【居住地域別】

居住地域別にみると、中央地域で「魅力的であれば参加したい」、青木地域、戸塚地域で「時間に余裕があれば参加したい」、南平地域で「あまり参加したいと思わない」の割合が高くなっています。



問 27　あなたが地域活動に参加しづらいと感じる理由は何ですか
（あてはまるものすべてに○）。

「仕事をもっているので時間がとれない」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「どのような活動があるのかなど、地域活動に関する情報がない」の割合が 23.3%、「人間関係がわずらわしい」の割合が 22.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「興味の持てる活動が見つからない」「人間関係がわずらわしい」「家事・育児に忙しくて時間がない」「気軽に短時間で参加できる活動がない」「仕事をもっているので時間がとれない」「知り合いがいないため、参加しづらい」の割合が高い傾向にあり、「健康や体力に自信がない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	どのような活動があるのかなど、地域活動に関する情報がない	興味の持てる活動が見つからない	気軽に短時間で参加できる活動がない	健康や体力に自信がない	人間関係がわずらわしい	身近なところに活動の場がない	家事・育児に忙しくて時間がない	地域活動に参加するうえでの仲間（人手）が不足している
全　体	1,126	23.3	15.6	13.2	17.1	22.9	8.4	9.4	2.7
18～39歳	187	20.9	23.5	15.5	7.0	28.3	8.0	17.6	2.7
40～64歳	505	25.9	14.5	16.4	9.3	25.9	6.3	12.5	2.4
65～74歳	174	29.3	16.1	9.2	19.5	18.4	10.3	2.9	2.9
75～84歳	163	20.2	11.7	9.2	37.4	20.2	14.1	1.8	2.5
85歳以上	62	6.5	9.7	3.2	40.3	3.2	8.1	0.0	4.8

区分	病人・高齢者・障害のある方の世話や介護で時間がない	経済的負担が大きい	子どもを見てくれる人や施設がない	家族の支持・理解がない	仕事をもっているので時間がとれない	知り合いがいないため、参加しづらい	その他	特にない	無回答
全　体	5.6	5.8	2.4	1.2	35.1	19.0	2.8	7.0	4.3
18～39歳	1.1	10.2	7.0	1.6	47.1	24.6	4.3	8.6	1.6
40～64歳	7.3	5.9	2.4	1.2	47.3	21.2	2.4	3.8	2.0
65～74歳	6.9	4.0	0.6	1.1	27.6	14.4	2.3	10.9	3.4
75～84歳	5.5	3.7	0.6	1.2	6.7	16.6	3.1	9.2	5.5
85歳以上	1.6	3.2	0.0	0.0	0.0	9.7	3.2	8.1	29.0

【居住地域別】

居住地域別にみると、横曽根地域で「興味の持てる活動が見つからない」、芝地域で「気軽に短時間で参加できる活動がない」、青木地域で「健康や体力に自信がない」「子どもを見てくれる人や施設がない」、中央地域で「人間関係がわずらわしい」「知り合いがいないため、参加しづらい」、中央地域、横曽根地域で「身近なところに活動の場がない」、安行地域で「仕事をもっているので時間がとれない」の割合が高くなっています。

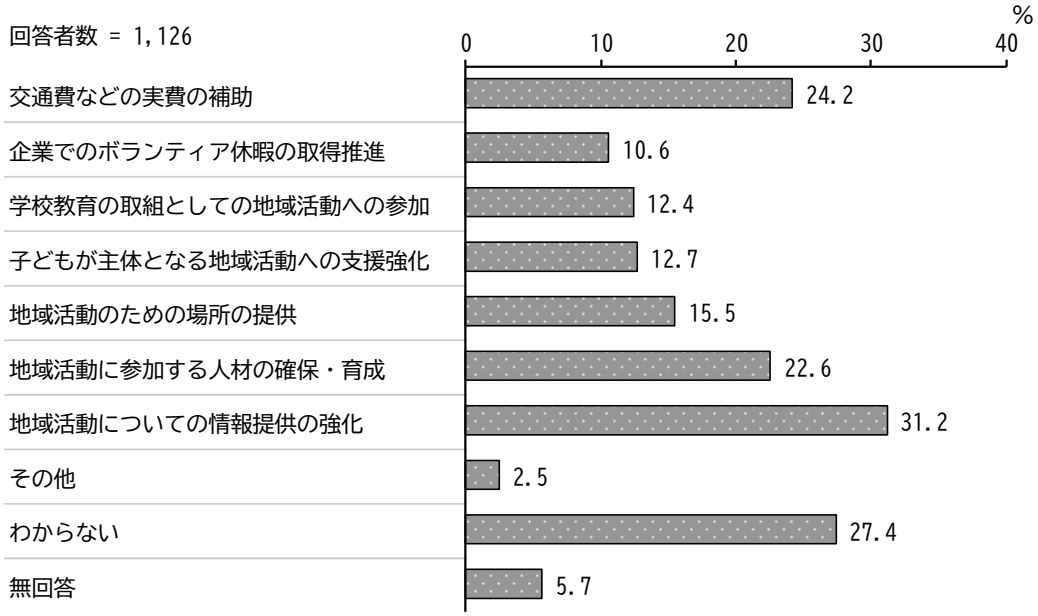
単位：％

区分	回答者数（件）	どのような活動があるのかなど、地域活動に関する情報がない	興味の持てる活動が見つからない	気軽に短時間で参加できる活動がない	健康や体力に自信がない	人間関係がわずらわしい	身近なところに活動の場がない	家事・育児に忙しくて時間がない	地域活動に参加するうえでの仲間（人手）が不足している
全　体	1,126	23.3	15.6	13.2	17.1	22.9	8.4	9.4	2.7
中央地域	87	25.3	18.4	14.9	17.2	32.2	13.8	12.6	5.7
横曽根地域	115	27.8	20.9	15.7	14.8	21.7	13.9	7.8	1.7
青木地域	131	26.7	16.8	9.9	23.7	22.9	7.6	13.7	1.5
南平地域	99	20.2	13.1	10.1	20.2	22.2	6.1	6.1	0.0
新郷地域	68	17.6	16.2	8.8	13.2	25.0	5.9	11.8	0.0
神根地域	87	19.5	8.0	12.6	16.1	18.4	6.9	8.0	1.1
芝地域	127	25.2	9.4	18.9	15.0	23.6	4.7	9.4	3.1
安行地域	82	19.5	19.5	17.1	15.9	23.2	7.3	7.3	6.1
戸塚地域	150	25.3	18.7	13.3	12.0	23.3	9.3	12.0	2.0
鳩ヶ谷地域	121	25.6	15.7	13.2	16.5	22.3	7.4	7.4	5.8

区分	病人・高齢者・障害のある方の世話や介護で時間がない	経済的負担が大きい	子どもを見てくれる人や施設がない	家族の支持・理解がない	仕事をもっているので時間がとれない	知り合いがいないため、参加しづらい	その他	特にない	無回答
全　体	5.6	5.8	2.4	1.2	35.1	19.0	2.8	7.0	4.3
中央地域	3.4	5.7	1.1	1.1	34.5	27.6	1.1	4.6	3.4
横曽根地域	7.0	5.2	2.6	3.5	35.7	18.3	1.7	9.6	1.7
青木地域	8.4	5.3	7.6	0.0	33.6	21.4	2.3	5.3	1.5
南平地域	6.1	7.1	1.0	2.0	40.4	16.2	6.1	5.1	6.1
新郷地域	4.4	5.9	0.0	1.5	29.4	16.2	4.4	8.8	4.4
神根地域	4.6	8.0	3.4	2.3	33.3	18.4	1.1	4.6	6.9
芝地域	7.1	7.9	1.6	0.0	40.2	15.0	3.1	6.3	1.6
安行地域	2.4	3.7	2.4	1.2	43.9	12.2	0.0	6.1	7.3
戸塚地域	6.7	5.3	2.0	0.7	32.7	21.3	2.7	6.7	2.0
鳩ヶ谷地域	3.3	6.6	1.7	0.8	35.5	24.0	5.8	9.1	6.6

問 28　今後、地域の活動の輪を広げていくために、川口市内でどのような支援が必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）。

「地域活動についての情報提供の強化」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「交通費などの実費の補助」の割合が 24.2%、「地域活動に参加する人材の確保・育成」の割合が 22.6%となっています。



【居住地域別】

居住地域別にみると、新郷地域で「交通費などの実費の補助」、新郷地域、鳩ヶ谷地域で「地域活動のための場所の提供」、戸塚地域で「地域活動に参加する人材の確保・育成」、神根地域で「地域活動についての情報提供の強化」の割合が高くなっています。

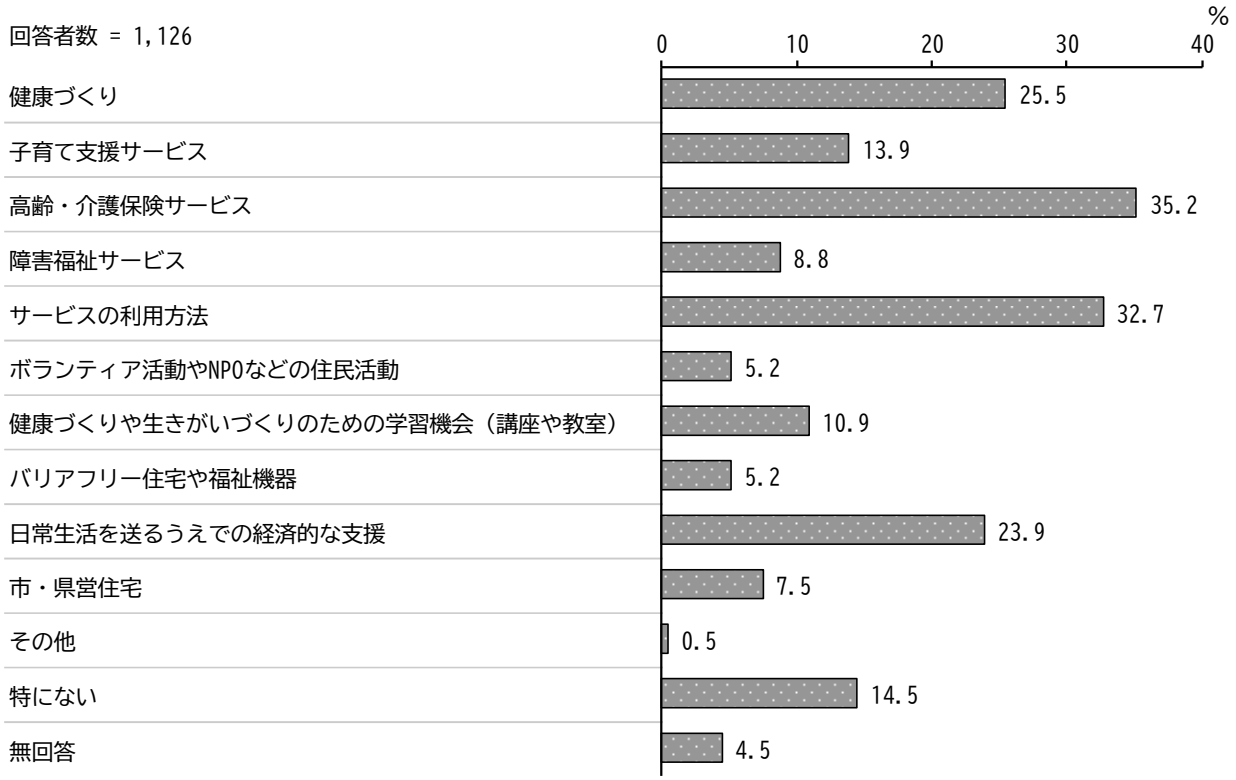
単位：%

区分	回答者数（件）	交通費などの実費の補助	企業でのボランティア休暇の取得推進	学校教育の取組としての地域活動への参加	子どもが主体となる地域活動への支援強化	地域活動のための場所の提供	地域活動に参加する人材の確保・育成	地域活動についての情報提供の強化	その他	わからない	無回答
全　体	1,126	24.2	10.6	12.4	12.7	15.5	22.6	31.2	2.5	27.4	5.7
中央地域	87	19.5	10.3	11.5	14.9	12.6	24.1	33.3	2.3	24.1	2.3
横曽根地域	115	21.7	12.2	15.7	14.8	12.2	22.6	33.9	4.3	25.2	1.7
青木地域	131	25.2	6.9	9.9	14.5	16.0	21.4	33.6	1.5	29.8	1.5
南平地域	99	24.2	13.1	15.2	14.1	12.1	26.3	30.3	1.0	23.2	5.1
新郷地域	68	29.4	8.8	10.3	11.8	22.1	23.5	23.5	4.4	33.8	2.9
神根地域	87	20.7	9.2	12.6	8.0	12.6	26.4	37.9	2.3	27.6	9.2
芝地域	127	18.1	9.4	11.0	14.2	15.0	17.3	32.3	4.7	33.1	7.9
安行地域	82	23.2	11.0	15.9	13.4	9.8	17.1	29.3	0.0	29.3	8.5
戸塚地域	150	27.3	12.0	11.3	10.7	16.0	29.3	28.7	2.7	27.3	5.3
鳩ヶ谷地域	121	28.9	14.0	13.2	14.0	22.3	18.2	32.2	1.7	21.5	9.1

5　今後の福祉施策等について

問 29　あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか（○は３つまで）。

「高齢・介護保険サービス」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「サービスの利用方法」の割合が 32.7%、「健康づくり」の割合が 25.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「健康づくり」「高齢・介護保険サービス」の割合が高い傾向にあり、「子育て支援サービス」の割合が低くなっています。また、18～39 歳で「日常生活を送るうえでの経済的な支援」、40～64 歳で「市・県営住宅」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	健康づくり	子育て支援サービス	高齢・介護保険サービス	障害福祉サービス	サービスの利用方法	ボランティア活動や NPO などの住民活動	健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）	バリアフリー住宅や福祉機器	日常生活を送るうえでの経済的な支援	市・県営住宅	その他	特にない	無回答
全　体	1,126	25.5	13.9	35.2	8.8	32.7	5.2	10.9	5.2	23.9	7.5	0.5	14.5	4.5
18～39歳	187	20.9	39.6	16.0	9.6	21.9	4.3	3.2	1.6	34.8	3.7	0.5	21.4	2.1
40～64歳	505	25.1	15.0	37.0	10.5	35.6	6.3	10.5	5.9	24.0	10.9	0.2	12.1	2.4
65～74歳	174	29.3	1.1	38.5	7.5	38.5	4.6	19.0	7.5	20.1	7.5	1.1	12.1	5.7
75～84歳	163	27.0	0.6	41.1	5.5	34.4	5.5	12.9	6.1	17.2	3.7	1.2	17.2	8.0
85歳以上	62	30.6	0.0	56.5	8.1	21.0	1.6	12.9	3.2	21.0	0.0	0.0	8.1	12.9

【居住地域別】

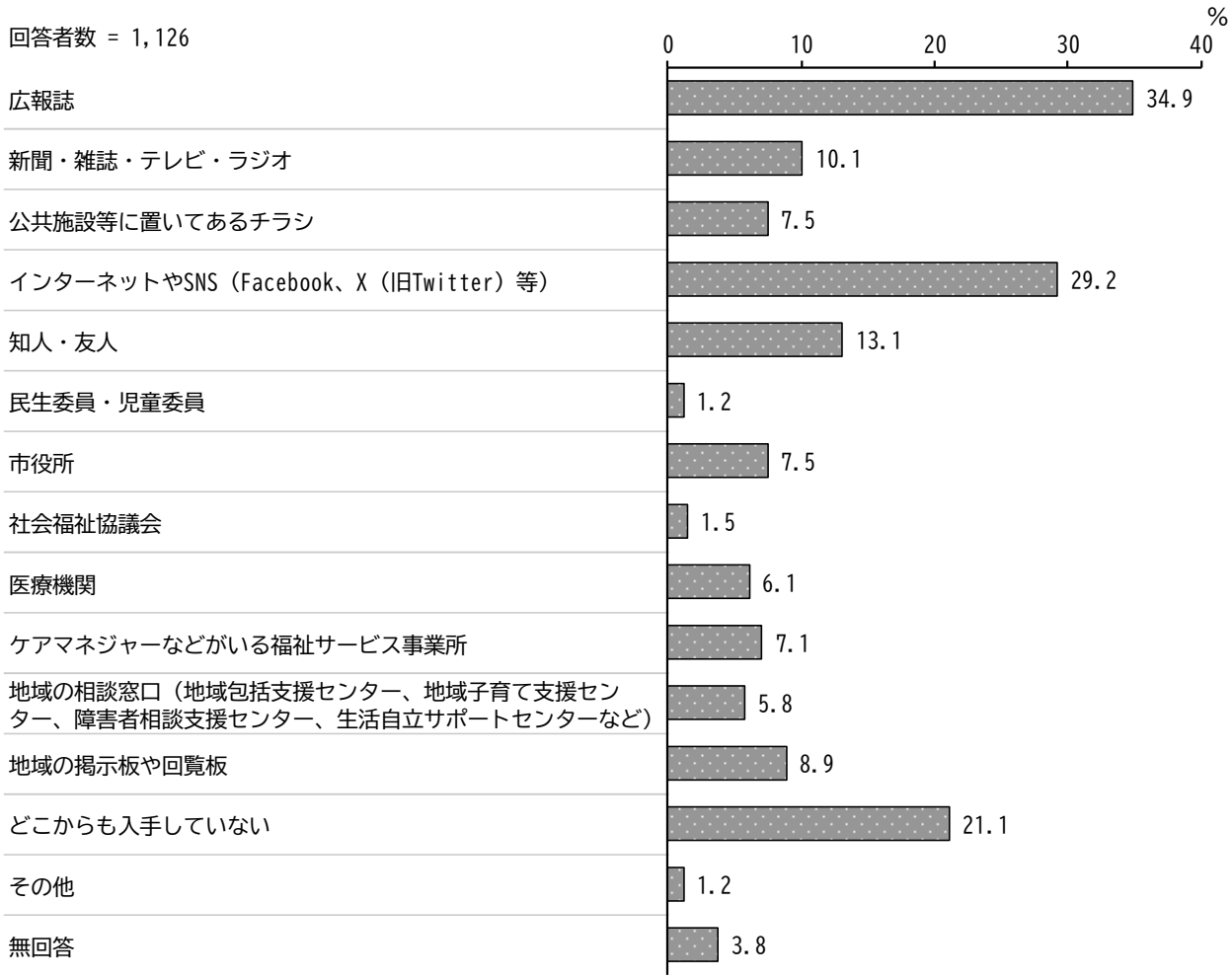
居住地域別にみると、中央地域、芝地域で「健康づくり」、中央地域で「子育て支援サービス」、南平地域で「高齢・介護保険サービス」、横曽根地域、神根地域、鳩ヶ谷地域で「サービスの利用方法」、安行地域で「健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）」、青木地域、鳩ヶ谷地域で「日常生活を送るうえでの経済的な支援」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	健康づくり	子育て支援サービス	高齢・介護保険サービス	障害福祉サービス	サービスの利用方法	ボランティア活動やNPOなどの住民活動	健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）	バリアフリー住宅や福祉機器	日常生活を送るうえでの経済的な支援	市・県営住宅	その他	特にない	無回答
全　体	1,126	25.5	13.9	35.2	8.8	32.7	5.2	10.9	5.2	23.9	7.5	0.5	14.5	4.5
中央地域	87	33.3	24.1	35.6	9.2	33.3	2.3	13.8	3.4	16.1	8.0	1.1	11.5	3.4
横曽根地域	115	22.6	11.3	33.9	8.7	38.3	3.5	10.4	7.0	17.4	9.6	0.0	19.1	0.9
青木地域	131	26.0	16.0	40.5	12.2	35.1	2.3	13.0	6.9	29.8	7.6	1.5	10.7	1.5
南平地域	99	28.3	11.1	47.5	12.1	29.3	6.1	15.2	5.1	19.2	7.1	0.0	16.2	2.0
新郷地域	68	22.1	14.7	30.9	5.9	29.4	2.9	7.4	5.9	27.9	4.4	0.0	17.6	7.4
神根地域	87	19.5	9.2	35.6	9.2	39.1	5.7	9.2	6.9	25.3	4.6	0.0	12.6	8.0
芝地域	127	30.7	11.8	25.2	7.1	29.9	6.3	8.7	3.9	24.4	8.7	2.4	12.6	7.1
安行地域	82	19.5	17.1	34.1	6.1	26.8	4.9	17.1	3.7	26.8	8.5	0.0	17.1	2.4
戸塚地域	150	28.0	15.3	34.7	12.0	28.7	8.7	7.3	3.3	22.0	6.7	0.0	12.7	4.0
鳩ヶ谷地域	121	24.0	12.4	34.7	5.8	41.3	8.3	10.7	5.8	32.2	7.4	0.0	16.5	4.1

問 30　あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか（○は３つまで）。

「広報誌」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「インターネットや SNS（Facebook、X（旧 Twitter）等）」の割合が 29.2%、「どこからも入手していない」の割合が 21.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「インターネットや SNS（Facebook、X（旧 Twitter）等)」「どこからも入手していない」の割合が高い傾向にあり、「医療機関」「ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所」の割合が低い傾向にあります。また、65～74 歳、75～84 歳で「広報誌」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	広報誌	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	公共施設等に置いてあるチラシ	インターネットや SNS（Facebook、X（旧 Twitter）等）	知人・友人	民生委員・児童委員	市役所
全　体	1,126	34.9	10.1	7.5	29.2	13.1	1.2	7.5
18～39歳	187	14.4	4.3	3.7	49.2	11.8	0.0	9.1
40～64歳	505	35.6	8.7	7.5	38.2	12.5	0.6	7.9
65～74歳	174	45.4	16.1	10.9	16.7	10.3	1.1	8.6
75～84歳	163	45.4	12.9	8.6	3.1	20.2	3.1	3.1
85歳以上	62	37.1	14.5	4.8	1.6	8.1	3.2	6.5

区分	社会福祉協議会	医療機関	ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所	地域の相談窓口（地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど）	地域の掲示板や回覧板	どこからも入手していない	その他	無回答
全　体	1.5	6.1	7.1	5.8	8.9	21.1	1.2	3.8
18～39歳	1.1	5.3	2.1	2.7	7.5	30.5	1.6	2.1
40～64歳	1.6	5.0	6.9	5.5	7.3	20.4	1.2	2.4
65～74歳	1.7	7.5	4.6	6.9	9.8	23.0	1.7	2.9
75～84歳	1.8	7.4	10.4	9.8	13.5	14.7	0.0	7.4
85歳以上	1.6	12.9	25.8	4.8	9.7	9.7	1.6	12.9

【居住地域別】

居住地域別にみると、中央地域、鳩ヶ谷地域で「広報誌」、新郷地域で「公共施設等に置いてあるチラシ」「地域の相談窓口（地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど）」、戸塚地域で「インターネットや SNS（Facebook、X（旧 Twitter）等）」、青木地域、戸塚地域で「知人・友人」、中央地域、青木地域、新郷地域で「市役所」、南平地域で「ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所」、芝地域、安行地域で「どこからも入手していない」の割合が高くなっています。

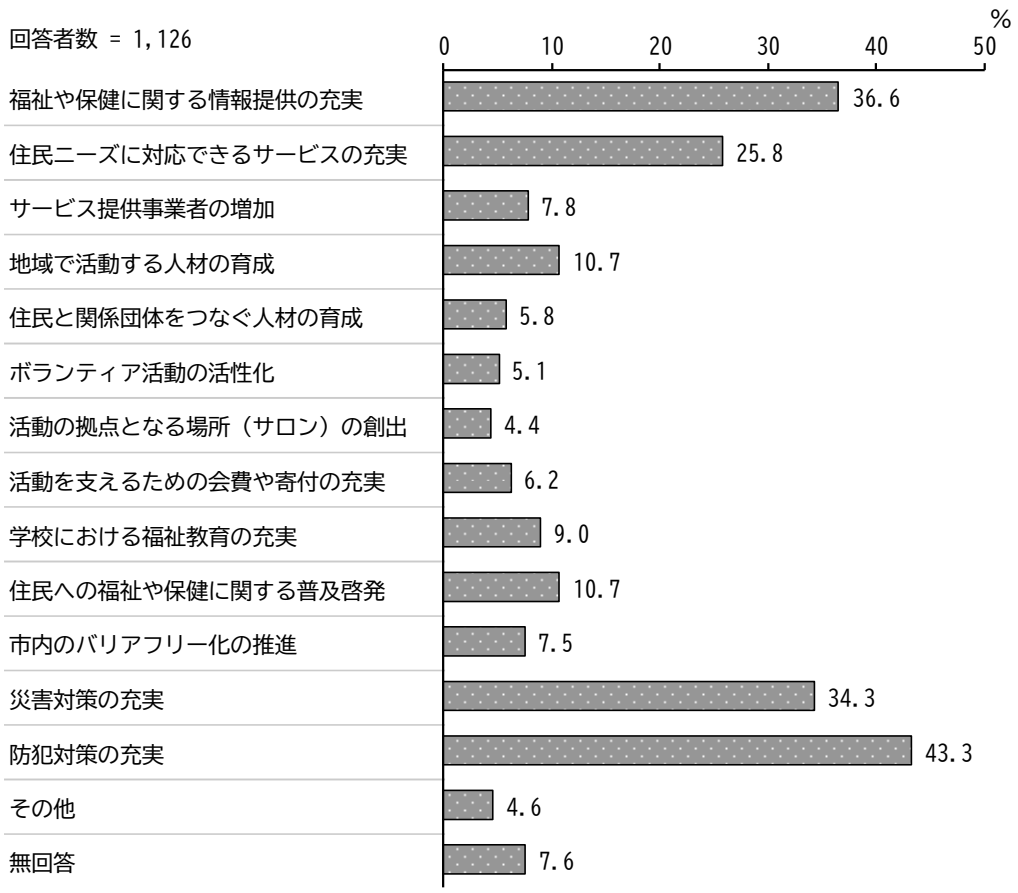
単位：%

区分	回答者数（件）	広報誌	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	公共施設等に置いてあるチラシ	インターネットやSNS（Facebook、X(旧Twitter)等）	知人・友人	民生委員・児童委員	市役所
全　体	1,126	34.9	10.1	7.5	29.2	13.1	1.2	7.5
中央地域	87	46.0	8.0	8.0	28.7	9.2	1.1	13.8
横曽根地域	115	31.3	10.4	7.0	33.0	13.0	1.7	9.6
青木地域	131	41.2	6.1	9.2	29.0	19.1	0.0	13.7
南平地域	99	31.3	7.1	4.0	33.3	10.1	2.0	7.1
新郷地域	68	32.4	14.7	19.1	26.5	8.8	2.9	14.7
神根地域	87	41.4	13.8	9.2	28.7	5.7	1.1	3.4
芝地域	127	26.8	11.0	7.9	18.9	11.8	0.8	1.6
安行地域	82	25.6	6.1	7.3	31.7	12.2	0.0	3.7
戸塚地域	150	30.0	13.3	5.3	34.7	18.7	1.3	6.0
鳩ヶ谷地域	121	45.5	10.7	2.5	31.4	13.2	0.8	5.8

区分	社会福祉協議会	医療機関	ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所	地域の相談窓口（地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど）	地域の掲示板や回覧板	どこからも入手していない	その他	無回答
全　体	1.5	6.1	7.1	5.8	8.9	21.1	1.2	3.8
中央地域	1.1	5.7	2.3	4.6	5.7	25.3	0.0	1.1
横曽根地域	0.9	4.3	7.0	5.2	4.3	25.2	0.0	0.0
青木地域	0.8	6.9	5.3	4.6	10.7	13.7	0.0	2.3
南平地域	2.0	6.1	14.1	10.1	6.1	20.2	0.0	4.0
新郷地域	1.5	5.9	8.8	13.2	5.9	13.2	0.0	5.9
神根地域	0.0	6.9	4.6	5.7	10.3	19.5	1.1	8.0
芝地域	1.6	4.7	7.1	5.5	13.4	28.3	2.4	6.3
安行地域	2.4	6.1	8.5	7.3	4.9	29.3	1.2	2.4
戸塚地域	2.0	6.7	8.0	2.7	8.7	21.3	2.7	2.7
鳩ヶ谷地域	3.3	7.4	6.6	3.3	13.2	18.2	2.5	3.3

問 31　あなたは、誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか（○は３つまで）。

「防犯対策の充実」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「福祉や保健に関する情報提供の充実」の割合が 36.6%、「災害対策の充実」の割合が 34.3%となっています。



【居住地域別】

居住地域別にみると、戸塚地域で「福祉や保健に関する情報提供の充実」、神根地域で「ボランティア活動の活性化」、安行地域で「学校における福祉教育の充実」「防犯対策の充実」、新郷地域で「市内のバリアフリー化の推進」、横曽根地域、南平地域で「災害対策の充実」の割合が高くなっています。

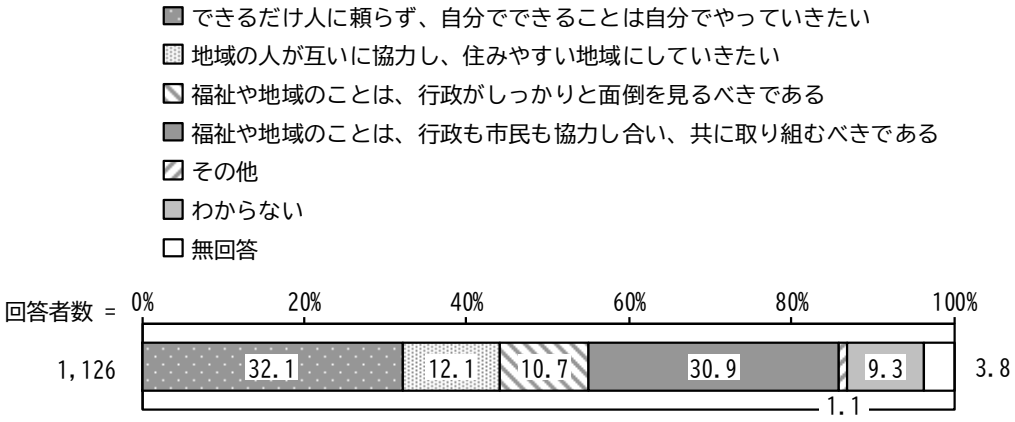
単位：％

区分	回答者数（件）	福祉や保健に関する情報提供の充実	住民ニーズに対応できるサービスの充実	サービス提供事業者の増加	地域で活動する人材の育成	住民と関係団体をつなぐ人材の育成	ボランティア活動の活性化	活動の拠点となる場所（サロン）の創出
全　体	1,126	36.6	25.8	7.8	10.7	5.8	5.1	4.4
中央地域	87	34.5	26.4	5.7	9.2	6.9	5.7	5.7
横曽根地域	115	37.4	29.6	7.0	10.4	3.5	1.7	3.5
青木地域	131	35.1	29.8	9.9	11.5	9.9	4.6	5.3
南平地域	99	38.4	18.2	9.1	14.1	3.0	6.1	5.1
新郷地域	68	33.8	20.6	7.4	8.8	4.4	2.9	2.9
神根地域	87	36.8	27.6	5.7	9.2	6.9	11.5	5.7
芝地域	127	31.5	25.2	6.3	9.4	4.7	3.1	3.9
安行地域	82	34.1	22.0	1.2	8.5	3.7	3.7	3.7
戸塚地域	150	42.7	28.7	11.3	10.0	8.0	5.3	4.0
鳩ヶ谷地域	121	37.2	30.6	12.4	11.6	5.8	5.8	5.0

区分	活動を支えるための会費や寄付の充実	学校における福祉教育の充実	住民への福祉や保健に関する普及啓発	市内のバリアフリー化の推進	災害対策の充実	防犯対策の充実	その他	無回答
全　体	6.2	9.0	10.7	7.5	34.3	43.3	4.6	7.6
中央地域	4.6	11.5	10.3	8.0	34.5	50.6	11.5	2.3
横曽根地域	7.0	4.3	8.7	6.1	40.0	48.7	6.1	5.2
青木地域	6.1	9.2	12.2	10.7	35.9	42.7	6.1	4.6
南平地域	7.1	12.1	11.1	8.1	41.4	36.4	5.1	9.1
新郷地域	4.4	2.9	10.3	13.2	38.2	41.2	2.9	13.2
神根地域	4.6	8.0	5.7	5.7	29.9	34.5	2.3	10.3
芝地域	7.9	11.0	10.2	6.3	31.5	47.2	3.1	8.7
安行地域	4.9	14.6	12.2	7.3	39.0	61.0	1.2	4.9
戸塚地域	6.7	10.0	13.3	7.3	27.3	36.0	2.0	8.0
鳩ヶ谷地域	6.6	8.3	13.2	7.4	32.2	43.0	5.8	6.6

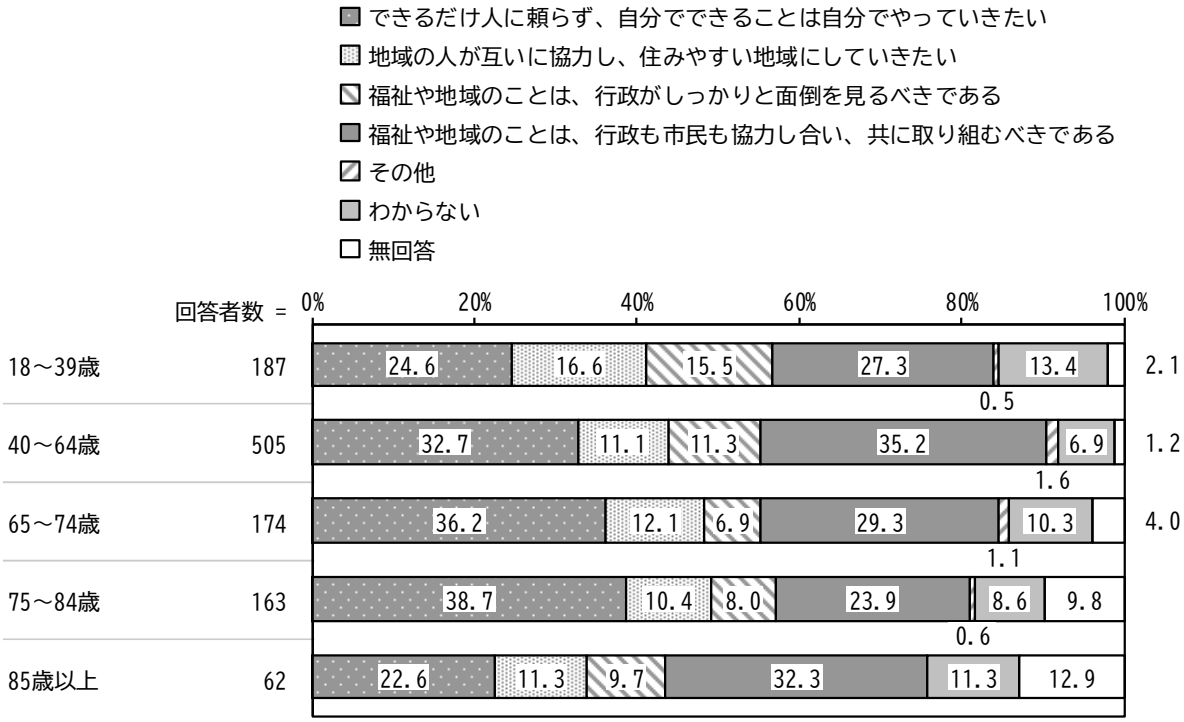
問 32　地域の市民同士の助け合い（互助）が以前にも増して大切な時代になってきていますが、地域における福祉について、あなたはどのように考えますか（ひとつに○）。

「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」の割合が 30.9%、「地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい」の割合が 12.1%となっています。



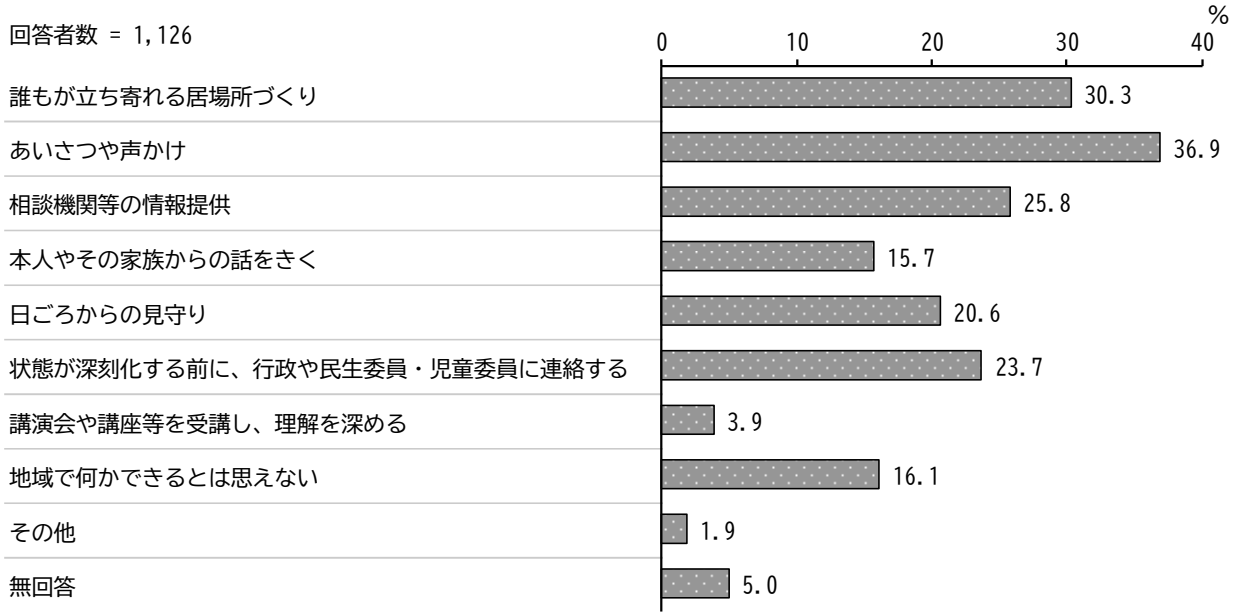
【年齢別】

年齢別にみると、18～39 歳から 75～84 歳まで年齢が上がるほど「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」の割合が高く、75～84 歳から 40～64 歳まで年齢が下がるほど「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」の割合が高くなっています。



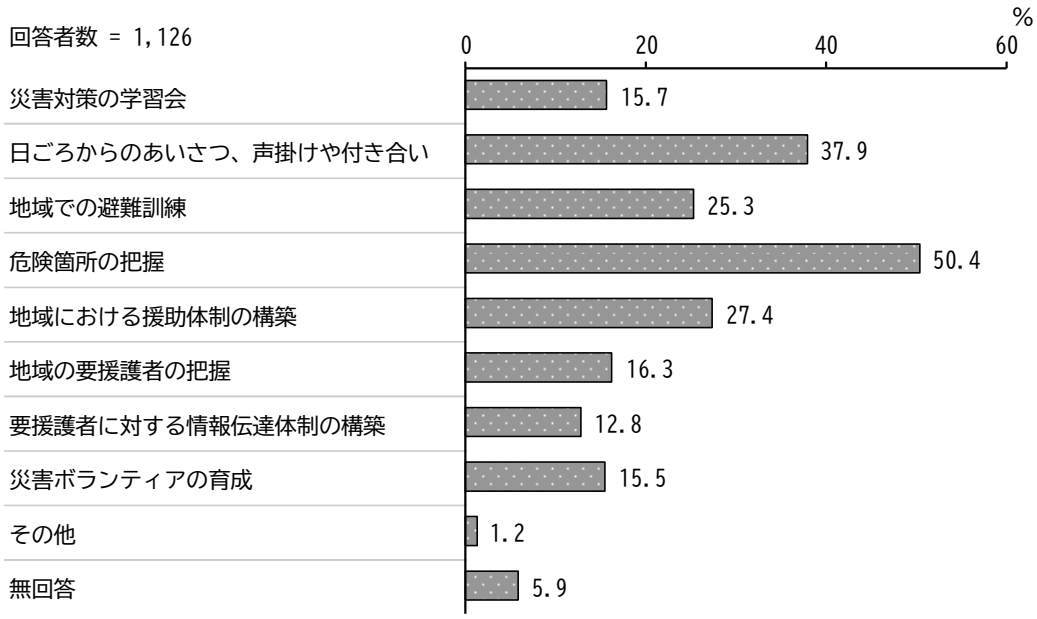
問 33　社会的孤立やひきこもりが社会問題となっていますが、地域として、これらの問題に対してどのようなことができると考えますか（○は３つまで）。

「あいさつや声かけ」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「誰もが立ち寄れる居場所づくり」の割合が 30.3%、「相談機関等の情報提供」の割合が 25.8%となっています。



問 34　地震などの災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことですが、あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが必要だと思いますか（○は３つまで）。

「危険箇所の把握」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」の割合が 37.9%、「地域における援助体制の構築」の割合が 27.4%となっています。



【居住地域別】

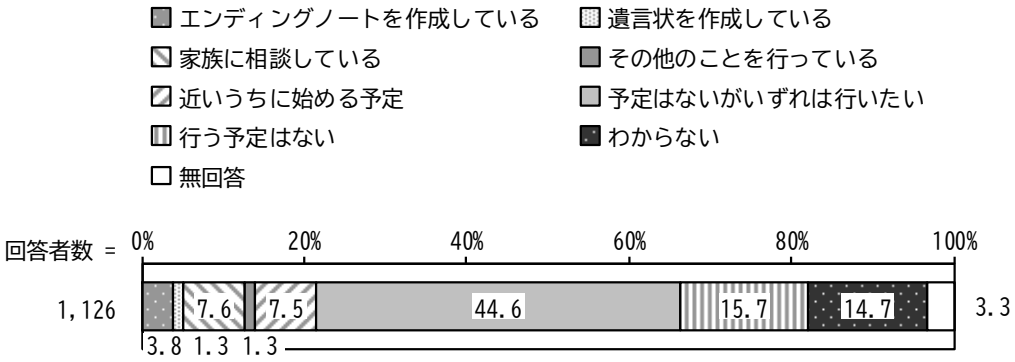
居住地域別にみると、鳩ヶ谷地域で「災害対策の学習会」、芝地域で「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」、南平地域で「地域での避難訓練」、中央地域で「危険箇所の把握」、横曽根地域、鳩ヶ谷地域で「地域における援助体制の構築」、青木地域で「地域の要援護者の把握」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	災害対策の学習会	日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い	地域での避難訓練	危険箇所の把握	地域における援助体制の構築	地域の要援護者の把握	要援護者に対する情報伝達体制の構築	災害ボランティアの育成	その他	無回答
全　体	1,126	15.7	37.9	25.3	50.4	27.4	16.3	12.8	15.5	1.2	5.9
中央地域	87	18.4	34.5	29.9	63.2	27.6	16.1	11.5	17.2	1.1	4.6
横曽根地域	115	15.7	30.4	27.8	45.2	38.3	14.8	14.8	16.5	1.7	1.7
青木地域	131	13.7	37.4	27.5	50.4	33.6	22.9	15.3	16.0	3.1	3.8
南平地域	99	19.2	36.4	30.3	42.4	30.3	16.2	15.2	15.2	0.0	6.1
新郷地域	68	10.3	39.7	25.0	47.1	26.5	16.2	8.8	14.7	0.0	5.9
神根地域	87	13.8	39.1	20.7	50.6	26.4	18.4	13.8	13.8	0.0	8.0
芝地域	127	15.7	43.3	22.0	51.2	18.1	16.5	13.4	16.5	2.4	5.5
安行地域	82	12.2	36.6	29.3	56.1	22.0	9.8	13.4	14.6	0.0	7.3
戸塚地域	150	17.3	41.3	21.3	50.7	24.0	12.7	13.3	14.7	2.0	4.7
鳩ヶ谷地域	121	20.7	33.1	23.1	55.4	35.5	16.5	10.7	18.2	0.8	7.4

問 35　「終活」を行っていますか（ひとつに○）。

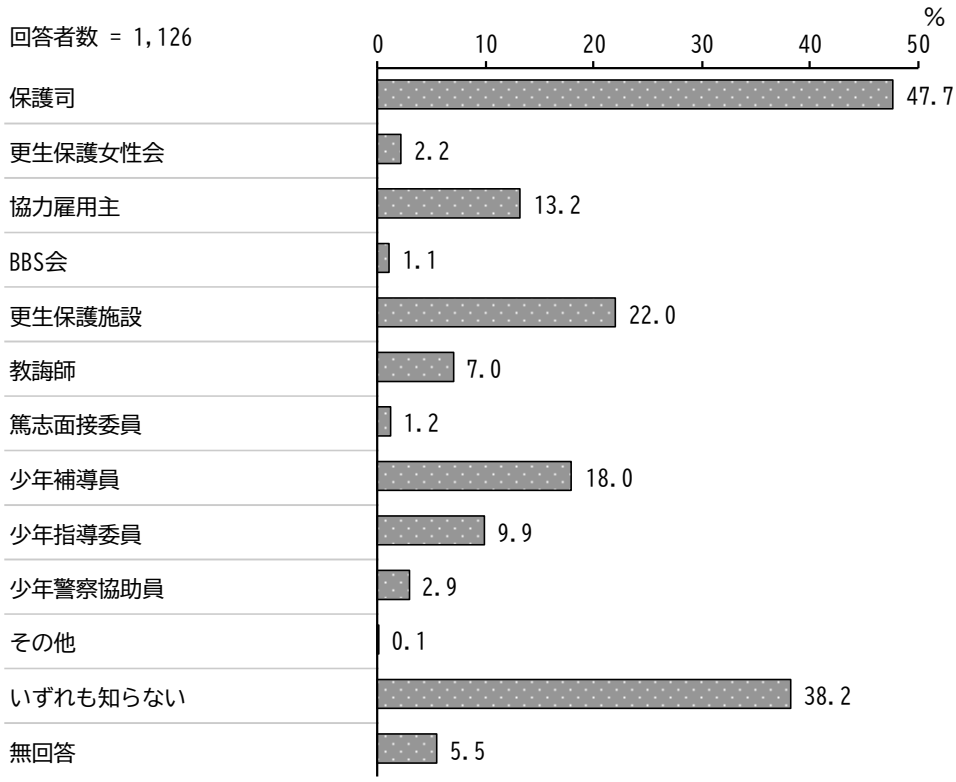
「予定はないがいずれは行いたい」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「行う予定はない」の割合が 15.7%となっています。



6　再犯防止について

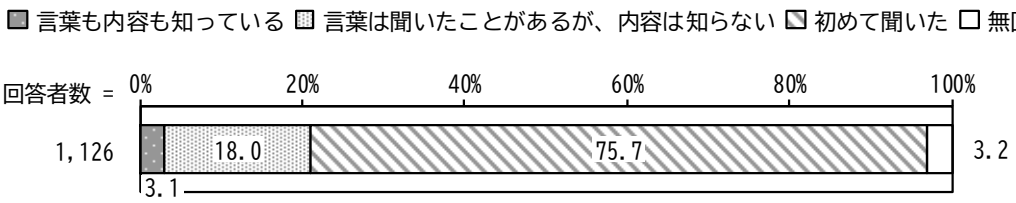
問 36　あなたは、再犯防止に協力する次のような民間協力者の方々を知っていますか
（あてはまるものすべてに○）。

「保護司」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「更生保護施設」の割合が 22.0%、「少年補導員」の割合が 18.0%となっています。



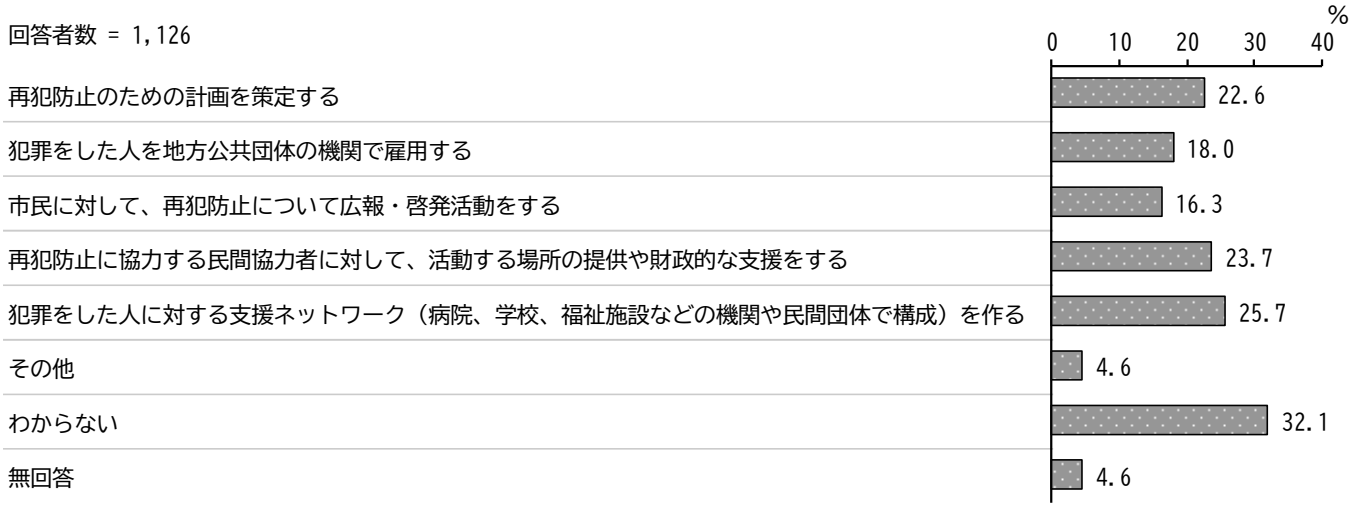
問 37　あなたは、「社会を明るくする運動」という言葉や内容を知っていますか
（ひとつに○）。

「言葉も内容も知っている」の割合が 3.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 18.0%、「初めて聞いた」の割合が 75.7%となっています。



問 38　あなたは、再犯防止のために行政が取り組むべきものはどれだと思いますか
（あてはまるものすべてに○）。

「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」の割合が 23.7%、「再犯防止のための計画を策定する」の割合が 22.6%となっています。



【社会を明るくする運動の認知度別】

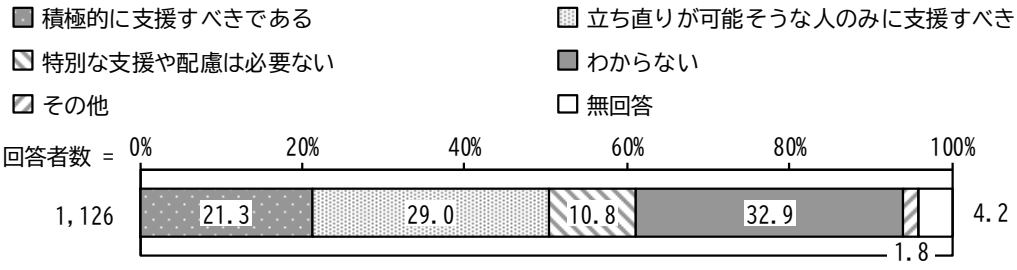
社会を明るくする運動の認知度別にみると、言葉や内容を知っている人ほど「再犯防止のための計画を策定する」「市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	再犯防止のための計画を策定する	犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する	市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする	犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る	その他	わからない	無回答
全　体	1,126	22.6	18.0	16.3	23.7	25.7	4.6	32.1	4.6
言葉も内容も知っている	35	40.0	25.7	22.9	48.6	28.6	5.7	17.1	2.9
言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	203	24.1	17.7	18.7	26.6	31.5	3.9	31.5	4.9
初めて聞いた	852	22.1	18.3	16.1	22.3	25.0	4.7	33.6	2.5

問 39　刑務所や少年院を出た人が立ち直り、地域の一員として生活できるように支援することについて、あなたの考えに近いものは次のどれですか（ひとつに○）。

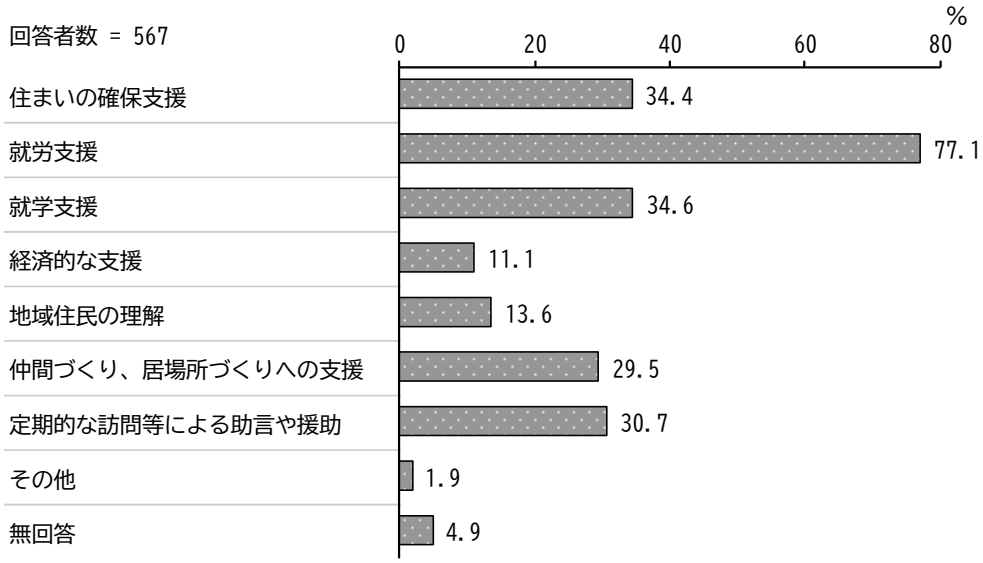
「積極的に支援すべきである」の割合が 21.3%、「立ち直りが可能そうな人のみに支援すべきである」の割合が 29.0%、「特別な支援や配慮は必要ない」の割合が 10.8%となっています。



問 39 で「積極的に支援すべきである」「立ち直りが可能そうな人のみに支援すべきである」に回答した方にうかがいます。

問 39-1　支援すべきことは次のうちどれだと思いますか（○は３つまで）。

「就労支援」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「就学支援」の割合が 34.6%、「住まいの確保支援」の割合が 34.4%となっています。

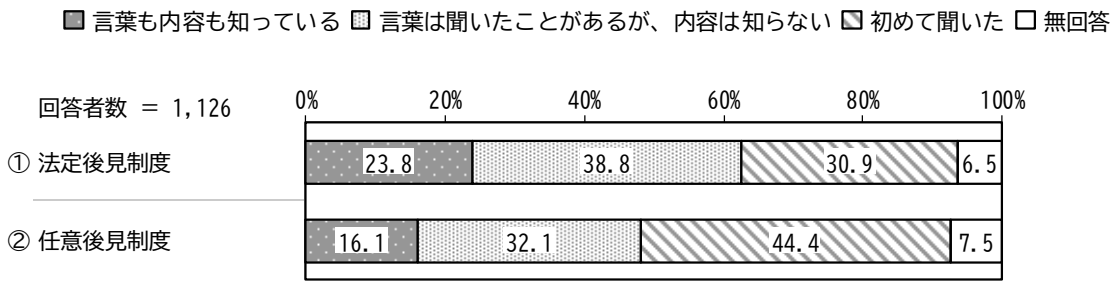


7　成年後見制度について

問 40　成年後見制度には、判断能力の低下に応じて利用する①法定後見制度と、将来に備えて自ら代理人と契約する②任意後見制度があります。言葉や内容を知っていますか（それぞれひとつに○）。

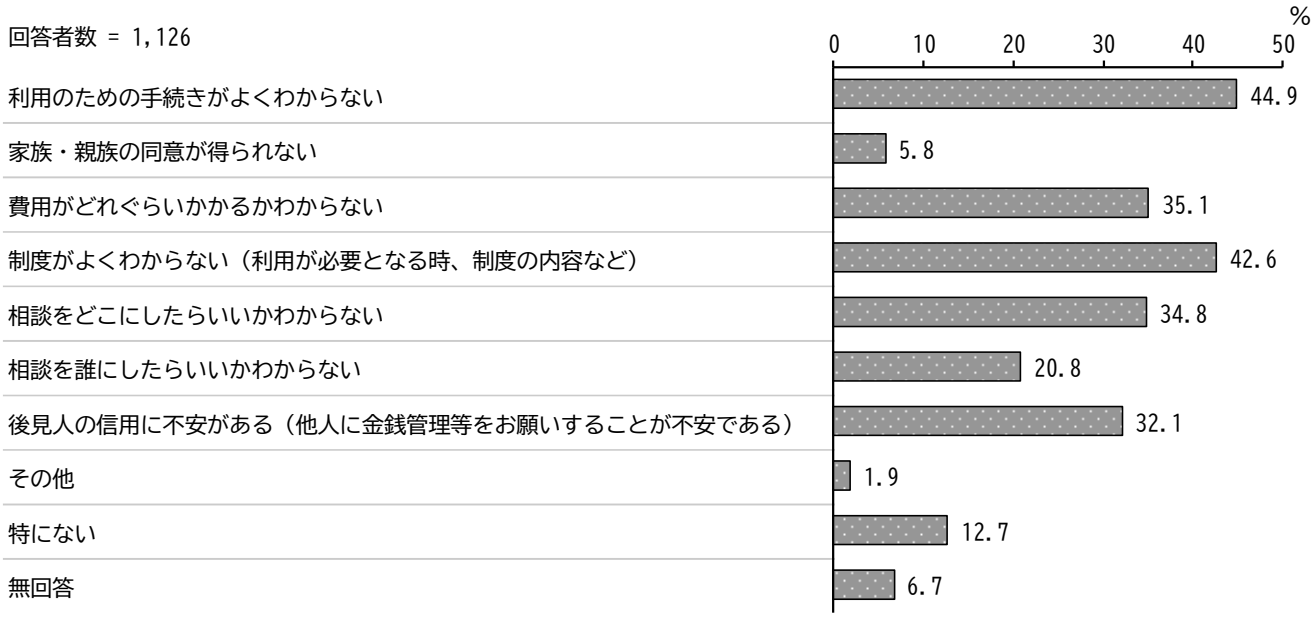
①法定後見制度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 23.8%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 38.8%、「初めて聞いた」の割合が 30.9%となっています。

②任意後見制度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 16.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 32.1%、「初めて聞いた」の割合が 44.4%となっています。



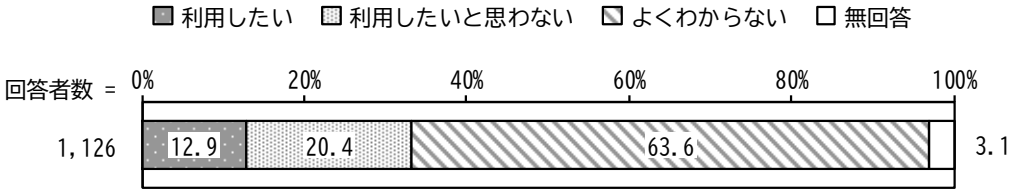
問 41　成年後見制度が必要になった際、不安なことは何ですか（あてはまるものすべてに○）。

「利用のための手続きがよくわからない」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「制度がよくわからない（利用が必要となる時、制度の内容など）」の割合が 42.6%、「費用がどれぐらいかかるかわからない」の割合が 35.1%となっています。



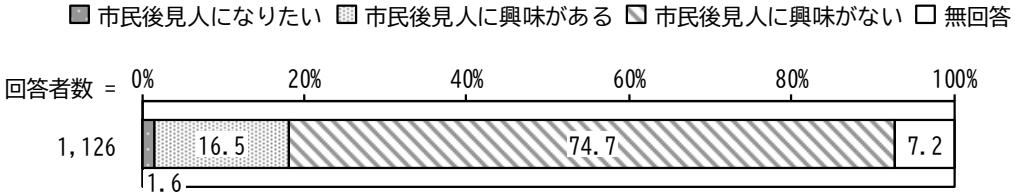
問 42　川口市では、高齢化に伴う成年後見制度の利用者増加に備え、市民後見人の育成に取り組んでいます。あなたは、市民後見人を利用したいと思いますか（ひとつに○）。

「利用したい」の割合が 12.9%、「利用したいと思わない」の割合が 20.4%、「よくわからない」の割合が 63.6%となっています。



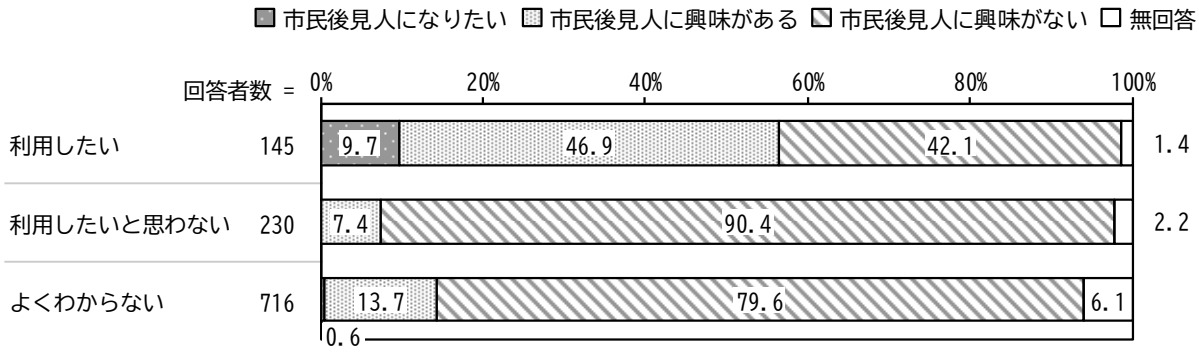
問 43　あなたは、成年後見制度の知識を持ち、身近な地域で利用者を支えることのできる「市民後見人」になりたいと思いますか（ひとつに○）。

「市民後見人になりたい」の割合が 1.6%、「市民後見人に興味がある」の割合が 16.5%、「市民後見人に興味がない」の割合が 74.7%となっています。



【市民後見人の利用意向別】

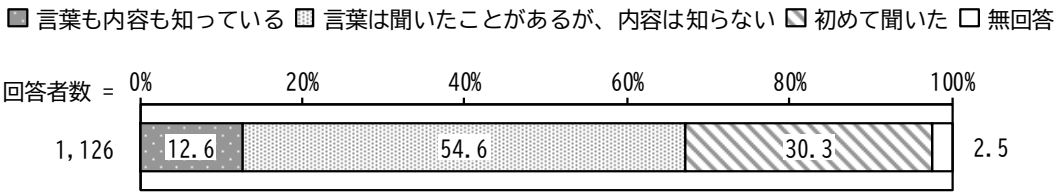
市民後見人の利用意向別にみると、『利用したい』で「市民後見人に興味がある」、『利用したいと思わない』で「市民後見人に興味がない」の割合が高くなっています。



8　生活困窮者自立支援について

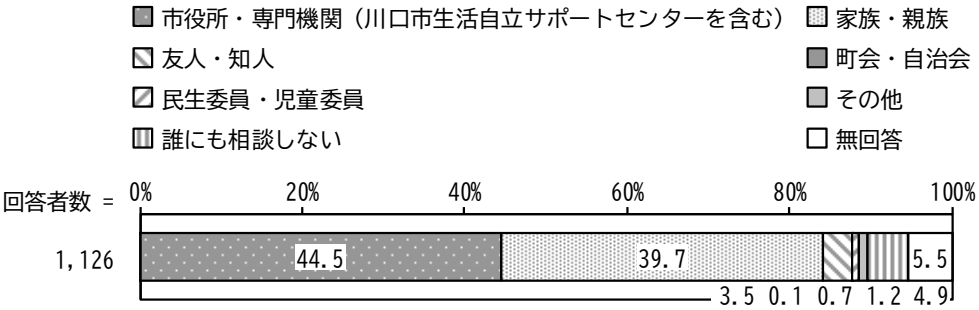
問 44　あなたは「生活困窮者自立支援制度」という言葉や内容を知っていますか（ひとつに○）。

「言葉も内容も知っている」の割合が 12.6%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 54.6%、「初めて聞いた」の割合が 30.3%となっています。



問 45　もしも、あなたが生活に困窮してしまうような問題に直面した場合、誰に相談したいと思いますか（ひとつに○）。

「市役所・専門機関（川口市生活自立サポートセンターを含む）」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 39.7%となっています。



「第２期川口市地域共生社会推進計画」の
策定に向けたアンケート調査報告書
発行年月：令和８年９月
発　　行：川口市 福祉部　福祉総務課
〒３３２-８６０１
埼玉県川口市青木２丁目１-１
電　　話：４８０-２５９-７９２９